

資料

- | | | |
|------|------------------------------------|-------------|
| 資料 1 | 生涯学習課 令和6年度事業報告（概要） | P. 1～P. 3 |
| 資料 2 | 令和6年度 事業別・市町村別実施一覧 | P. 4 |
| 資料 3 | 関係各課 令和7年度 年間事業計画 | |
| | 生涯学習課 | P. 5～P. 7 |
| | 小中学校課 | P. 8～P. 14 |
| | 学校安全対策課 | P. 15～P. 39 |
| 資料 4 | 令和7年度 事業別・市町村別実施予定一覧 | P. 40 |
| 資料 5 | 令和7年度放課後子ども教室・放課後児童クラブ取組状況調査（まとめ） | |
| | | P. 41～P. 46 |
| 資料 6 | NPO法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）の現況と課題 | |
| | | P. 47～P. 51 |

令和6年度高知県地域学校協働活動推進委員会及び研修会等事業報告(概要)

1 推進委員会の実施

■第1回

【開催日】令和6年11月14日

【内容】令和5年度実績報告、令和6年度中間報告等

■第2回

【開催日】令和7年2月13日

【内容】令和6年度事業報告(実績見込)、令和7年度事業計画等

2 研修会等

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性
(1) 全体研修会及び地域コーディネーター研修会	高知県地域学校協働活動研修会 (全体研修会) ※小中学校課との合同開催	令和6年7月31日	高知共済会間 COMMUNITY SQUARE 【分科会】 「藤」の間 【全体会】 「桜」の間	【分科会】 グループによる情報交換 【全体会】 講演及び質疑 「コミュニティ・スクールと地域学校 協働活動の一体的推進をめざして」	【講師】 福田 範史 氏(文部科学省CSマイスター・鳥取県南部町教育長)	44名	85%	<p>【地域学校協働本部事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働本部設置率 100% ※小・中・義務教育学校(分校と県立中除く) ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動 の一体的推進に向けた取組として、小中学校課と合同で研修会を開催することができた。来年度も合同開催の予定。 ・それぞれの地域や学校に応じた協働活動 が実施され、コロナ前のような活気を取り戻した。また、LINEでのボランティアへの連絡の 実施など工夫した取組も継続されている。 	<p>【地域学校協働本部事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進員(地域コーディ ネーター)やボランティアの人材確保・育成 ・環境は整った(コミュニティ・スクール導入 率、地域学校協働本部設置率共に100%)の で、今後質の向上が必要となってくる。 ・市町村や学校によって活動内容に差がある。 地域学校協働活動事例集の取組を周知する とともに様々な場面で活用し、他本部の 活動事例を自本部での実践に結びつけられ るように支援する。
	高知県地域学校協働活動 ブロック別研修会 (高知市地域学校協働本部事業研修会)	令和6年10月22日 令和7年1月28日	アスパルこうち 4階ホール	第1回 講演及び質疑 「地域学校協働活動の価値とは?」 グループ別協議 第2回 事務局説明 情報交換 実践発表 「地域どながる生徒会活動」 グループ別協議	第1回 【研修テーマ】「地域学校協働活動の価値を考える」 【講師】 斎藤 雅洋 氏(高知大学 地域協働学部 准教授) 第2回 【研修テーマ】子供たちの言葉から学ぶ「学校と地域の連携・協働」 【実践発表者】 潮江中学校生徒会執行部	28名 28名	100% 100%	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動 において、子どもの課題解決に取り組むこと で、改善・解決につながった割合 89.1% ・民生委員・児童委員の参画率 96% ・厳しい環境にある子どもたちの地域による 見守りの効果を実感している学校が増加し た。また、民生委員・児童委員と家庭がつな がることで、学校との情報共有がより円滑に なり、継続的支援につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールとの一体的な推進に 向け、育たい子どもの姿を共有し、活動の 目的や必要性を明確にした協働活動を展開 していくことで、社会に開かれた教育課程の 実現につなげていく。そのための核となる、 市町村教育委員会とさらなる連携を図り、支 援方法等を検討していく。また、市町村担当 者向けの研修についても検討していく。 ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動 について、管理職だけでなく、教職員等への 理解を促進するために研修会のあり方を検 討する必要がある。そのために関係各課と の情報の共有や連携体制を強化していく。
	高知県地域コーディネーター研修会 (全3回)	令和6年10月28日 令和6年10月29日 令和6年10月31日	第1回:いの町総合保健福祉センター 第2回:四万十市総合文化センターしまんとびあ 第3回:安田町文化センター	[基調講演] 「CSと地域学校協働活動の一体的 推進～今、求められているコーディ ネート力～」 [実践発表及び質疑] [グループによるワークショップ]	【講師】 竹原 和泉 氏(NPO法人まちと学校のみらい代表理事) 【実践発表者】 (第1回 中部会場) 川上 碓也 氏(いの町立伊野南小学校長・伊野南応援団) (第2回 西部会場) 徳弘 茂生 氏(黒潮町立南郷小学校長・黒潮町地域学校協働本部) (第3回 東部会場) 嶋田 数昌 氏(甲浦地区保小中合同学校運営協議会 会長) 橋本 恵子 氏(地域学校協働活動推進員・桜津つ子育てる会)	49名 23名 32名	83% 87% 88%	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動や学習支援による声かけ等が、 子どもたちの心の安定や自尊感情の高まり につながった。 ・地域学校協働活動研修会(全体研・ブロック 別)や地域コーディネーター研修会の継続的 の実施により協働活動の意義や取組について の理解が深まってきている。 	
	高知県社会教育実践交流会	令和7年2月15日	高知市春野文化ホール ピアステージ	◆基調報告 ◆パネルディスカッション ◆交流タイム	高知大学地域協働学部 准教授 斎藤 雅洋 氏 「高知県の社会教育のいま」 実践発表者 大久保 良子 氏(高知県青年団協議会 会長) 徳増 千里 氏(一般社団法人りぐる 共同代表) 門脇 由紀子 氏(南国市社会教育委員長) コーディネーター 斎藤 雅洋 氏	60名 ・県内参加市町村 数 13	95%	<p>【高知県社会教育実践交流会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッションでは、地域で実践し ている人の発表を通して、それぞれの地域で の取組や地域と学校をどのように繋ごうし ているかが共有されるよい機会となった。 ・交流タイムでは、参加者が参加者同士や実 践発表者と意見交流を通してつながること で、新たな活動が展開されるなど、社会教育 活動の推進につながっている。 	<p>【高知県社会教育実践交流会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係者だけではなく、学校教育関 係者やPTA、NPO団体等からの参加も見込 めるように、形式や内容について検討して いく。 ・参加者がただ参加するだけではなく、一人 一人が当事者意識を持ち、地域や世代を超 えて多くの人と関わり情報共有ができる交 流会にしていく。 ・分科会を復活させても良いのではないか。

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性	
①放課後児童教室推進事業パッケージ放課後児童クラブに係る推進質向上に係る支援員等研修	防災・防犯対策研修	令和6年7月8日	東部会場:高知県立青少年センターしまんとびあ	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画の作成について」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課チーフ(学校安全担当) 上岡 法政 氏	181名	98%	【放課後児童対策パッケージ推進事業】 【資質向上研修】 (各テーマ共通) ・取組状況調査や市町村ヒアリング、現場訪問の際にニーズを把握することで、実態に沿った研修を行うことにより、昨年度に比べて研修に参加する市町村は増えた。	【放課後児童対策パッケージ推進事業】 【資質向上研修】 (各テーマ共通) ・昨年度に引き続き、市町村担当者及び支援員の方からのニーズが高い、発達障害に関する内容については、アンケート等の内容から個別支援を求めているケースが多いため、市町村ヒアリングの際に、課題を共有していく。視察先での好事例については、市町村担当者及び支援員の方に共有していく。 ・ヒアリング等の周知や担当者に連絡をしているが、参加率が低い自治体がある。引き続き、市町村担当に周知するとともに、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの視察を行った際に周知していく。 ・オンデマンド配信については、現場からのニーズがあることから引き続き継続していく。	
		令和6年7月10日	中部会場:高知青少年の家	◆情報提供:「1人1台タブレット端末等を活用した学校での取組について」	講師:高知県教育委員会事務局小中学校課					
		令和6年7月17日	西部会場:四万十市立文化センター							
	防災・防犯対策研修・オンデマンド配信	令和6年7月26日～令和6年9月30日	オンライン配信	◆講義:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画の作成について」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課チーフ(学校安全担当) 上岡 法政 氏	-	-	・昨年度に引き続き、防犯に関する研修会を行い、学び場人材バンクの出前講座のメニューに防犯研修を追加した。自治体単位や放課後児童クラブ単位で訓練を行う箇所も増えてきている。 ・小中学校課から「1人1台タブレット端末等を活用した学校での取組」について、操作体験とあわせて情報提供を行ったことで、小学校がどのようにタブレット端末を活用しているか、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの支援員に周知が広がった。		
	防犯対策研修会	令和6年9月13日	東部会場:高知県立青少年センター	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける防犯対策について」	講師:高知県警察本部生活安全部生活安全企画課地域安全対策推進担当課長補佐兼企画担当課長補佐 近藤 秀明 氏	159名	97%	・小中学校課から「1人1台タブレット端末等を活用した学校での取組」について、操作体験とあわせて情報提供を行ったことで、小学校がどのようにタブレット端末を活用しているか、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの支援員に周知が広がった。		
		令和6年9月17日	西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ							
		令和6年9月24日								
	子どもの発達障害等の理解促進研修会	令和6年11月21日	西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ	◆講義・演習:「集団での活動における支援で大切にしたいこと～子どものMIKATAを変える～」	講師:障害児児童通所施設「こころとからだの発達相談室えいとろ」代表 森實 摩利子 氏	256名	100%	・障害児児童通所施設「こころとからだの発達相談室えいとろ」代表 森實 摩利子 氏		
		令和6年11月22日	中部会場:高知県立青少年の家							
		令和6年11月26日	西部会場:高知県立青少年センター							
②放課後児童支援員認定資格研修	子どもの発達障害等の理解促進研修会・オンデマンド配信	令和6年12月17日～令和7年2月14日	オンライン配信	◆講義「集団での活動における支援で大切にしたいこと～子どものMIKATAを変える～」	講師:障害児児童通所施設「こころとからだの発達相談室えいとろ」代表 森實 摩利子 氏	-	-			
	子どもの発達等の理解促進研修会	令和7年1月21日	東部会場:高知県立青少年センター	◆講義・演習:「集団活動で大切にしたいこと～アタッチメントの視点～」	講師:高知大学 教育研究部 人文社会科学系 教育学部門准教授 福住 紀明 氏	210名	99%	・高知大学 教育研究部 人文社会科学系 教育学部門准教授 福住 紀明 氏		
		令和7年1月23日	中部会場:須崎市立市民文化会館							
		令和7年1月28日	西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ							
③放課後児童支援員研修	子どもの発達等の理解促進研修会・オンライン配信	令和7年2月14日～令和7年3月14日	オンライン配信	◆講義:「集団活動で大切にしたいこと～アタッチメントの視点～」	講師:高知大学 教育研究部 人文社会科学系 教育学部門准教授 福住 紀明 氏	-	-			
	放課後児童支援員認定資格研修	令和6年9月22日 令和6年10月13日 令和6年11月4日 令和6年12月8日	高知県立高知青少年の家	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚生労働省令第63号)に基づく、児童クラブに従事する放課後児童支援員として、必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とした講義等を、1日あたり4科目(1科目90分)、計4日間、1回実施。	NPO法人日本放課後児童指導員協会(委託)	74名 (修了:65名)	-	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・放課後児童クラブに配置が必要となる放課後児童支援員の資格を付与する。 ・受講者数(うち修了者数) R5:82(75)→R6:74(65) ・R3より、今後従事を希望する者も含めての募集に変更した。	【放課後児童支援員認定資格研修】 ・市町村担当者ヒアリングでは「人材が不足しており、一部の職員に負担がかかっている。」「研修を受けたても受講要件を満たさない職員がいる。」等の意見があった。 ・次年度以降も開催することに加え、人材確保に向けた市町村への支援も継続していく。 ・年1回、集合研修での開催としているが、一部修了者や欠席者への受講機会の確保について問い合わせがある。受講者数および一部修了者数の増加等の状況によっては複数回開催の検討が必要である。	
放課後児童支援員研修	子育て支援員研修 放課後児童コース	令和7年2月11日 令和7年3月2日	高知県立高知青少年の家	地域において子育て支援の仕事に関心を持ち、放課後児童クラブ等に従事することを希望する者に対し、多様な子育て支援分野に関して必要な知識や技能等を修得するため、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とした講義等を、1日あたり3科目(1科目90分)、計2日間実施。	合同会社 All HEROs 代表 中山 芳一 氏	35名 (修了:23名)	-	【子育て支援員研修】 ・補助員として勤務する際に必要な知識の習得。 ・放課後児童支援員認定資格研修の受講要件に該当しなくても受講可能。 ・受講者数(うち修了者数) R5:30名(29名)→R6:35名(23名)	【子育て支援員研修】 ・保育や教育関係への従事経験がない者でも放課後児童クラブに従事することができるため、資質に差が生じている。 ・年度当初から市町村へ周知を行い、従事して間もない職員を中心に受講を推奨していく。 ・今後も開催時期の状況によりオンライン研修を取り入れるなど、臨機応変に対応していく。	

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度	成果	課題と今後の方向性																					
および （3） 「高 知 を 家 の 使 用 親 し た 育 講 ち 座 を 応 開 催 する （4） 「学 高 習 知 家 の グ 早 ラ 寝 ま 早 起 の き 朝 ご シ は り ん テ フ オ タ ー 一 ラ 養 成 2 研 0 修 2 会 4」	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」のファシリテーター養成研修会	基礎編:令和6年10月4日	高知県立高知青少年の家	「子どもの心を開くコミュニケーションの仕方」を学ぶ・体験型講演会 ・講義とロールプレイによる体験学習	講師:NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原 裕子 氏	申込者14名、認定者7名	86%	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・18市町村 ・家庭教育支援チーム:4市町村(須崎市、宿毛市、土佐町、日高村)	【家庭教育支援基盤形成事業】 ・補助金の活用拡大 一未活用の市町村に対して働きかけるとともに、現在活用している市町村に対しても、他市町村の活用事例等を共有して、補助金の活用拡大に向けた働きかけを行う。																					
		活用編:令和6年10月11日	高知県立高知青少年の家	プログラムの概要、プログラム体験			84%																							
		実践編:令和6年10月22日	高知県立高知青少年の家	プログラム演習			92%	【高知家の親の育ちを応援する学習プログラム】 ・「親プロ」活用講座	【高知家の親の育ちを応援する学習プログラム】 ・ファシリテーター養成研修を行うとともに、ファシリテーターのスキルアップの機会を設ける。																					
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座・研修会	令和6年6月5日	香南市野市東幼稚園	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	19名	85%	過去4年間と本年度の成果 <table border="1"><thead><tr><th>回数</th><th>参加者</th><th>ファシリテーター派遣</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1 20回</td><td>536名</td><td>33名</td></tr><tr><td>R2 7回</td><td>76名</td><td>9名</td></tr><tr><td>R3 7回</td><td>109名</td><td>7名</td></tr><tr><td>R4 13回</td><td>155名</td><td>15名</td></tr><tr><td>R5 18回</td><td>396名</td><td>18名</td></tr><tr><td>R6 17回</td><td>641名</td><td>19名</td></tr></tbody></table>			回数	参加者	ファシリテーター派遣	R1 20回	536名	33名	R2 7回	76名	9名	R3 7回	109名	7名	R4 13回	155名	15名	R5 18回	396名	18名	R6 17回	641名
回数	参加者	ファシリテーター派遣																												
R1 20回	536名	33名																												
R2 7回	76名	9名																												
R3 7回	109名	7名																												
R4 13回	155名	15名																												
R5 18回	396名	18名																												
R6 17回	641名	19名																												
令和6年6月14日	四万十町東又保育所	子どもの食事ってこれでいいの？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	28名																										
令和6年6月15日	四万十町十川小学校	「言葉」の大切さ	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	46名																										
令和6年6月21日	室戸市佐喜浜保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	11名																										
令和6年8月19日	土佐清水市きらら清水保育園	子ども同士のトラブル…どう解決する？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	12名																										
令和6年8月22日	土佐市みのり保育園	子どもの困った行動に対する保育士の対応の仕方について	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	5名																										
令和6年10月12日	高知市昭和小学校	いのちの教育	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	160名																										
令和6年10月24日	四万十市大用小学校	子どもの規範意識ってどうやって育てるの？	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	37名																										
令和6年10月26日	高知市春野東小学校PTA	親子絵本パーソナル診断	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	12名																										
令和6年11月6日	仁淀川町池川こども園	親子読書の大切さ、年令にあった絵本の選び方	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	47名																										
令和6年11月23日	安芸市井ノ口小学校	子どもの規範意識ってどうやって育てるの？	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	13名																										
令和6年11月29日	高知市春野西小学校	読み聞かせで育む親子の絆	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	60名																										
令和6年12月20日	高知市高知国際中学校	いのちの学習	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	104名																										
令和7年1月18日	四万十市中筋小学校	子どもの「ケータイ・スマホ」どう考える？	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	65名																										
令和7年1月23日	土佐市みのり保育園	こどもの関わり	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	12名																										
令和7年2月6日	土佐清水市子育て支援センターどんぐりっこ	子どもは生き生きしてる？	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	5名																										
令和7年2月13日	須崎市子育て支援センターサンサンひろば	スキンシップの大切さ	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	5名																										
（4）「学 習 相 談 ・ 学 習 支 援 」 検 討 会	「高知家の早寝早起き朝ごはんフォーラム2024」	令和7年1月24日～令和7年2月14日	オンライン研修	講演動画配信 講演1「じぶんではじめる、早ね早起き朝ごはん」 講演2「スマホでよふかし、どうよくないの？」	高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門 講師 竹内 日登美 氏	288名	-	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・参加者(11名[当課事務局2名含む]) 教育委員会事務局高等学校課1名 同人権教育・児童生徒課1名 県子ども・福祉政策部地域福祉政策課2名 同子ども家庭課1名、同福祉指導課1名 県商工労働部・雇用労働政策課1名 各若者サポートステーション2名 ・各若者サポートステーションによる支援状況の理解促進と各課の今後の事業展開に向けた連携を図ることができた。 ・令和6年度実績(若者サポートステーション) 前年度末在籍利用者 55名 新規登録者 85名 学習相談 719件、実人数 118名 学習支援 667件、実人数 49名 アウトリーチ 265件、実人数 41件 就労 39名(正規0、非正規 37、職業訓練2) 修学 22名(進学10、復学4、高卒認定8)	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・高卒認定試験については、新教育課程となってから内容も変わり、R8年度からは「情報」の科目も新たに入ってくるため、対策が必要である。 ・サポートステーション利用者支援については、対象者個人だけではなく、家庭全体に対しても支援が必要なため、他部署との連携が不可欠である。 ・次年度においても、労働、福祉部局等とのさらなる連携・協働を推進するため、年1回、実施していく。																					
（4）「学 習 相 談 ・ 学 習 支 援 」 検 討 会	「学習相談・学習支援」検討会	令和6年11月29日	高知県立心の教育センター	「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事業内容説明及び実施状況 高等学校卒業程度認定試験について ・高知県の現状・若者サポートステーション利用者実施状況 各市町村の生活保護受給世帯数について 意見交換→・学習相談・学習支援に関する具体的方策・高等学校卒業程度認定試験・支援対象者の誘導・高校中退から就労に至るまでの間に必要な支援・支援における関係機関の連携・事業成果の評価検証など	若者サポートステーション所長等	11名	-	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・参加者(11名[当課事務局2名含む]) 教育委員会事務局高等学校課1名 同人権教育・児童生徒課1名 県子ども・福祉政策部地域福祉政策課2名 同子ども家庭課1名、同福祉指導課1名 県商工労働部・雇用労働政策課1名 各若者サポートステーション2名 ・各若者サポートステーションによる支援状況の理解促進と各課の今後の事業展開に向けた連携を図ることができた。 ・令和6年度実績(若者サポートステーション) 前年度末在籍利用者 55名 新規登録者 85名 学習相談 719件、実人数 118名 学習支援 667件、実人数 49名 アウトリーチ 265件、実人数 41件 就労 39名(正規0、非正規 37、職業訓練2) 修学 22名(進学10、復学4、高卒認定8)	【地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業】 ・高卒認定試験については、新教育課程となってから内容も変わり、R8年度からは「情報」の科目も新たに入ってくるため、対策が必要である。 ・サポートステーション利用者支援については、対象者個人だけではなく、家庭全体に対しても支援が必要なため、他部署との連携が不可欠である。 ・次年度においても、労働、福祉部局等とのさらなる連携・協働を推進するため、年1回、実施していく。																					

市町村名	本部数	地域学校協働活動 実施学校数					放課後児童対策パッケージ(小学校)	家庭教育支援事業
		小学校	中学校	義務教育学校	高校	その他 (幼・保)		
1 室戸市	6	5	4			1	2	4
2 安芸市	9	8	1				5	10
3 南国市	17	13	4				18	3
4 土佐市	11	9	3				8	7
5 須崎市	10	8	5				6	5
6 宿毛市	10	8	5				3	4
7 土佐清水市	1	6	1				1	4
8 四万十市	15	13	3				14	9
9 香南市	9	7	4				12	3
10 香美市	9	7	3			1	10	4
11 東洋町	1	2	2			2		1
12 奈半利町	1	1	1			1	1	1
13 田野町	1	1	1			1		1
14 安田町	1	1	1			1		2
15 北川村	1	1	1			1		1
16 馬路村	1	2	2					1
17 芸西村	1	1	1			2	1	1
18 本山町	1	2	1				1	2
19 大豊町	1			1				3
20 土佐町	1	1	1					1
21 大川村	1			1				1
22 いの町	8	7	5				8	3
23 仁淀川町	1	3	2					3
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2
25 佐川町	5	4	2				3	3
26 越知町	1	1	1				1	
27 植原町	1	1	1					1
28 日高村	1	2	1				1	2
29 津野町	2	3	2			2		3
30 四万十町	14	12	3				1	12
31 大月町	1	1	1					1
32 三原村	1	1	1					1
33 黒潮町	1	7	2					4
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1	
35 高知市	48(56)	36(39)	12(17)	2			88	41
36 県立	9				9			
事業実施予定期合計	204	172	79	4	9	13	186	144
合計	(213)	(176)	(85)	4	9	13	186	144
								18

※地域学校協働活動の()内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校7校、国の示す本部の3要件を満たす高知市の学校4校及び一財対応の学校組合2校を含む。

1 事業の総合的なねらい

地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせて、学校に対する多様な協力活動や、学習活動等を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の活性化を図る取組、放課後等に子どもたちの安全・安心な活動場所を確保して学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する放課後等支援、保護者への学習機会の提供や相談対応などの家庭教育支援等の教育支援活動を実施し、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

2 重点取組

- (1)市町村担当者、学校関係者、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)等、学習支援員、協働活動リーダー、協働活動サポートー、放課後児童支援員等の資質向上を目的とした各種の研修会を開催し、情報交換・共有の場とする。
- (2)子どもたちの見守り機能をさらに発揮するため、より多く、より幅広い層の地域住民や団体等に、きめ細かく密接に学校に関わっていただく形をつくるなど、学校と地域がパートナーとして子どもたちを見守り育てる高知県版地域学校協働本部の取組を推進する。
- (3)「親の育ちを応援する学習プログラム」の普及・啓発を図るとともに、ファシリテーターを養成する研修会を実施する。
- (4)事業実施市町村へのヒアリングやアンケート等により、事業の効果や課題について調査を行い、事業を検証するとともに、市町村が実施する運営委員会や研修会に参加し、円滑な事業運営を支援する。
- (5)若者サポートステーションの修学・就労支援により、高等学校未卒の若者(20歳から39歳及び市在住の15歳から19歳)の社会的自立を推進する。

3 事業計画(推進委員会の実施)**■第1回**

【開催日】令和7年11月6日

【内 容】令和6年度実績報告、令和7年度中間報告等

■第2回

【開催日】令和8年2月上旬～2月中旬

【内 容】令和7年度事業報告(実績)、令和8年度事業計画等

4 研修会等

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度
(1) 全体研修会及び地域コーディネーター研修会	高知県地域学校協働活動研修会 兼 地域とともにある学校づくり研究協議会 ※小中学校課との合同開催	令和7年8月18日	高知県立 ふくし交流プラザ 多目的ホール	[基調講演] 演題「学校と地域の学びの未来」 ～子どもたちの心を育む学校・家庭・地域との連携・協働～ [パネルディスカッション] テーマ「持続可能な社会の創り手を育成するコミュニティ・スクール」 [グループ交流]	[講師] 鈴木 廣志 氏(文部科学省CSマイスター、栃木県栃木市地域振興部地域政策課社会教育指導員) [モデレーター] 鈴木 廣志 氏(文部科学省CSマイスター、栃木県栃木市地域振興部地域政策課社会教育指導員) [パネリスト] 小川 真悟 氏(高知市立春野中学校長) 中村 彰宏 氏(春野中学校区学校運営協議会 会長) 嶋田 敦昌 氏(甲浦地区保小中合同学校運営協議会 会長) 川上 碩也 氏(いの町立伊野南小学校長)	98名	84%
	高知県地域学校協働活動推進員 (地域コーディネーター)研修会 (全3回)	令和7年10月21日 令和7年10月22日 令和7年10月23日	第1回:安田町文化センター 多目的ホール 第2回:四万十市総合文化センター りぐるホール 第3回:高知県立高知青少年の家 大集会室	[基調講演] 演題「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一體的推進」 ～子どもの学びのためにコーディネーターとしてできること～ [実践発表] [グループによるワークショップ]	[講師] 竹原 和泉 氏(NPO法人まちと学校のみらい 代表理事) [実践発表者] (第1回 東部会場、第2回 西部会場) 福井 佳織 氏(高知市立義務教育学校土佐山学舎校長) 高橋 幹博 氏(義務教育学校土佐山学舎学校運営協議会 会長) (第3回 中部会場) 北添 忠 氏(四万十町立米奥小学校長) 村上 智之 氏(米奥小学校地域学校協働本部 地域学校協働活動推進員)	-	-
	高知県社会教育実践交流会	令和7年1月24日	高知県立青少年センター	分科会・分散会・交流タイム	[実践発表者] ・県内社会教育関係者6名	-	-

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度
①放課後子ども教室推進事業パッケージ放課後進児童事業に係る推進質事業向上に係る支援員等研修	危機管理対策研修	令和7年7月4日 令和7年7月7日 令和7年7月8日	中部会場:高知青少年の家 西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ 東部会場:高知県立青少年センター	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画・危機管理マニュアルの見直しについて」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課チーフ(学校安全担当) 上岡 法政 氏	250名	99%
	危機管理対策研修・オンデマンド配信	令和7年8月19日～10月17日	オンデマンド配信	◆講義・演習:「放課後子ども教室・放課後児童クラブにおける安全計画・危機管理マニュアルの見直しについて」	講師:高知県教育委員会事務局学校安全対策課チーフ(学校安全担当) 上岡 法政 氏	—	—
	子どもの発達理解促進研修会	令和7年9月9日 令和7年9月16日 令和7年9月18日	東部会場:高知県立青少年センター 西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ 中部会場:須崎市立市民文化会館	◆講義・演習:「集団活動で大切にしたいこと」～ソーシャルスキルの視点で～	講師:高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門准教授 福住 紀明 氏	212名	99%
	子どもの発達理解促進研修会・オンデマンド配信	令和7年9月26日～12月19日	オンデマンド配信	◆講義・演習:「集団活動で大切にしたいこと」～ソーシャルスキルの視点で～	講師:高知大学教育研究部人文社会科学系教育学部門准教授 福住 紀明 氏	—	—
	子どもの発達障害等の理解促進研修会	令和7年11月12日 令和7年11月14日 令和7年11月20日	西部会場:四万十市総合文化センターしまんとびあ 東部会場:高知県立青少年センター 中部会場:高知県立青少年の家	◆講義・演習「集団での活動における支援で大切にしたいこと」～ふつうをアップデート～	講師:障害児童通所支援施設「こころとからだの発達相談室えいとろ」代表 森實 摩利子 氏	—	—
	子どもの発達障害等の理解促進研修会・オンデマンド配信	令和7年12月上旬～令和8年2月上旬(予定)	オンデマンド配信	◆講義・演習「集団での活動における支援で大切にしたいこと」～ふつうをアップデート～	講師:障害児童通所支援施設「こころとからだの発達相談室えいとろ」代表 森實 摩利子 氏	—	—
	テーマ未定	令和8年1月予定	3会場で実施予定	未定	未定	—	—
②放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員認定資格研修	令和7年10月26日 令和7年11月3日 令和7年11月16日 令和7年11月24日	高知県立高知青少年の家	「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(平成26年厚生労働省令第63号)に基づく、児童クラブに従事する放課後児童支援員として、必要最低限の知識及び技能の習得とそれを実践する際の基本的な考え方や心得を認識することを目的とした講義等を、1日あたり4科目(1科目90分)、計4日間、1回実施。	NPO法人日本放課後児童指導員協会(委託)	—	—
③放課後児童支援員コース	子育て支援員研修 放課後児童コース	令和7年9月6日 令和7年9月7日	高知県立高知青少年の家	地域において子育て支援の仕事に关心を持ち、放課後児童クラブ等に従事することを希望する者に対し、多様な子育て支援分野に関して必要な知識や技能等を修得するため、これらの支援の担い手となる子育て支援員の資質の確保を図ることを目的とした講義等を、1日あたり3科目(1科目90分)、計2日間実施。	合同会社 All HEROs 代表 中山 芳一 氏	26名	—

内容	研修名	日時	会場	内容	講師名	参加人数	満足度
(3) 「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター養成研修会、ファシリテーターフォローアップ研修会	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター養成研修会	基礎編 令和7年9月11日 活用編 令和7年9月19日 実践編 令和7年9月26日	高知県立高知青少年の家	「子どもの心を開くコミュニケーションの仕方」を学ぶ「体験型講演会」 プログラム概要説明 プログラム体験 プログラム実践・演習	NPO法人ハートフルコミュニケーション代表理事 菅原 裕子 氏	申込者6名	93%
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーターフォローアップ研修会	令和7年10月28日	高知県立青少年センター	◆講演:「私がファシリテートするときに意識していること」 ◆グループワーク	こうち社会教育・生涯学習研究会事務局長 北川 力 氏	—	—
	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」を活用した講座・研修会	令和7年5月10日 高知市 春野南ヶ丘PTA子ども会	女の子の体と心	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	12名	—	
		令和7年6月1日 高知市 附属幼稚園	子どもの心(感情)を育てるために～ちゃんと泣ける子に育てよう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	54名		
		令和7年6月3日 南国市 あけぼの保育所	絵本の講話	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	21名		
		令和7年6月13日 黒潮町 佐賀保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	30名		
		令和7年6月14日 香南市 夜須小学校	ケータイ・スマホとの付き合い方	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	25名		
		令和7年6月17日 室戸市 佐喜浜保育所	スマホ時代の子育て	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	11名		
		令和7年6月20日 南国市 あけぼの保育所	絵本の講話	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	25名		
		令和7年6月21日 高知市 春野弘岡上保育園	絵本の読み聞かせ講話	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	17名		
		令和7年6月26日 土佐市 みのり保育園	子どもとの関わり	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	13名		
		令和7年6月27日 黒潮町 南部保育所	子育て中のイライラとうまくつきあおう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	14名		
		令和7年6月28日 四万十市 東中筋小学校	基本的生活習慣の大切さ～「メディアとの適切な接し方」について	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	65名		
		令和7年9月4日 土佐市 みのり保育園	子ども理解と関わり方	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	6名		
		令和7年9月4日 室戸市 羽根中学校区	早ね早起き朝ごはんと、元気もりもり大作戦!	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員	75名		
		令和7年9月18日 黒潮町 地域子育て支援センター	子育て中のイライラとうまくつきあおう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	7名		
		令和7年9月20日 土佐市 新居小学校	子どもの規範意識ってどうやって育てるの?	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター	31名		
		令和7年10月1日 越知町教育委員会事務局 生涯学習課	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター			
		令和7年10月31日 黒潮町 大方中央保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員			
		令和7年11月1日 四万十市 あおぎ保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	高知県教育委員会事務局生涯学習課職員			
		令和7年11月5日 仁淀川町 池川こども園	9:30-読み聞かせ 10:00-親子読書の大切さ	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター			
		令和7年11月27日 須崎市地域子育て支援センター	子どもは「生き生き」してる?~『子どもは遊びの天才だ~!』~	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター			
		令和7年11月29日 四万十市 竹島保育所	子育てのイライラとうまく付き合う親になろう	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター			
		令和7年12月4日 黒潮町 地域子育て支援センター	赤ちゃんや子どもの食育について	「高知家の親の育ちを応援する学習プログラム」ファシリテーター			
(4) 「学習相談・学習支援」検討会	「学習相談・学習支援」検討会	令和7年11月実施 (予定)	未定	「地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業」の事業内容説明及び実施状況 高等学校卒業程度認定試験について→・高知県の現状・若者サポートステーション利用者実施状況 各市町村の生活保護受給世帯数について 意見交換→・学習相談・学習支援に関する具体的な方策・高等学校卒業程度認定試験・支援対象者の誘導・高校中退から就労に至るまでの間に必要な支援・支援における関係機関の連携・事業成果の評価検証など	若者サポートステーション所長、代表理事等 予定	12名 予定	

「地域とともにある学校づくり」推進に向けての取組（R7）

～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

教育委員会名

管内 CS 数 :

協働本部数 :

市町村の「学校・家庭・地域の連携推進」に係る方針

1 昨年度（R6年）の成果と課題

2 令和7年度の市町村（学校組合）教育委員会が取り組む内容（支援体制）

3 一体的推進につながった事例

[学校運営協議会開催日程等]

	学校名	開催日	協議内容
①			
②			
③			



[地域との連携]

	名 称	活動内容
() の協議内容から		
() の協議内容から		
() の協議内容から		

* 「一体的推進につながった好事例」についての参考資料等があれば、ご提出をお願いします。

* 必要に応じて枠を増やしてください。

令和7年度 高知県地域学校協働活動研修会 兼 地域とともにある学校づくり研究協議会
〔全体研修会〕 [道徳教育パワーアップ研究協議会]
開催要項

1 趣 旨

学校の地域連携に関わる教員及び、地域学校協働本部事業・学校運営協議会等の関係者が一堂に会し、講話や意見交流等を通して、学校と地域社会が連携・協働して子どもたちの心を育む体制づくり、その必要性についての理解を深めることで、学校と家庭・地域との連携の一層の充実を図る。

2 主 催 高知県教育委員会 高知県地域学校協働活動推進委員会

3 日時・会場 日時：令和7年8月18日（月） 13:00～16:30
会場：高知県立ふくし交流プラザ 多目的ホール（高知市朝倉戊375-1）

4 参加対象者 (1) 学校管理職、道徳教育推進教師、特別活動担当、生活科・総合的な学習の時間担当、コミュニティ・スクール担当など、学校の地域連携に関わる小・中学校の教職員
(2) 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）、放課後児童支援員、家庭教育支援員、学校運営協議会委員、学校支援ボランティア、行政職員 等

5 日程及び内容

時間帯	内 容
12:40～13:00	受付
13:00～13:20	開会行事・全体説明
13:20～14:20	基調講演 演題：「学校と地域の学びの未来」 ～子どもたちの心を育む学校・家庭・地域との連携・協働～ 文部科学省CSマイスター 鈴木 廣志 氏 (栃木県栃木市地域振興部地域政策課 社会教育指導員)
14:20～14:35	休憩
14:35～15:35	パネルディスカッション テーマ「持続可能な社会の創り手を育成するコミュニティ・スクール」
15:35～16:25	グループ交流
16:25～16:30	閉会行事・本日の振り返り

6 旅 費 参加対象者(1)については、配当外旅費を支給します。（旅費コード421-0899-3262）
参加対象者(2)については、所管の市町村教育委員会にご相談ください。

7 申込み 対象者(1)については、全国教員研修プラットフォームPlantでの申込みとします。
対象者(2)については、別紙申込書をFAXもしくは電子メールにて問合せ先②まで送付してください。出席希望がない市町村につきましても、その旨のご連絡をお願いします。
申込みの締め切りは、どちらも8月1日（金）とします。

8 備 考

- 本協議会は、高知県教育委員会事務局生涯学習課と小中学校課の合同開催となります。

[担当：問合せ先①]

高知県教育委員会事務局小中学校課

担当 飯田・中谷・松村・河野（チーフ 中野・池畠）

TEL：088-821-4735 FAX：088-821-4926

E-mail: hiromasa_iida@ken3.pref.kochi.lg.jp

[担当：問合せ先②]

高知県教育委員会事務局生涯学習課

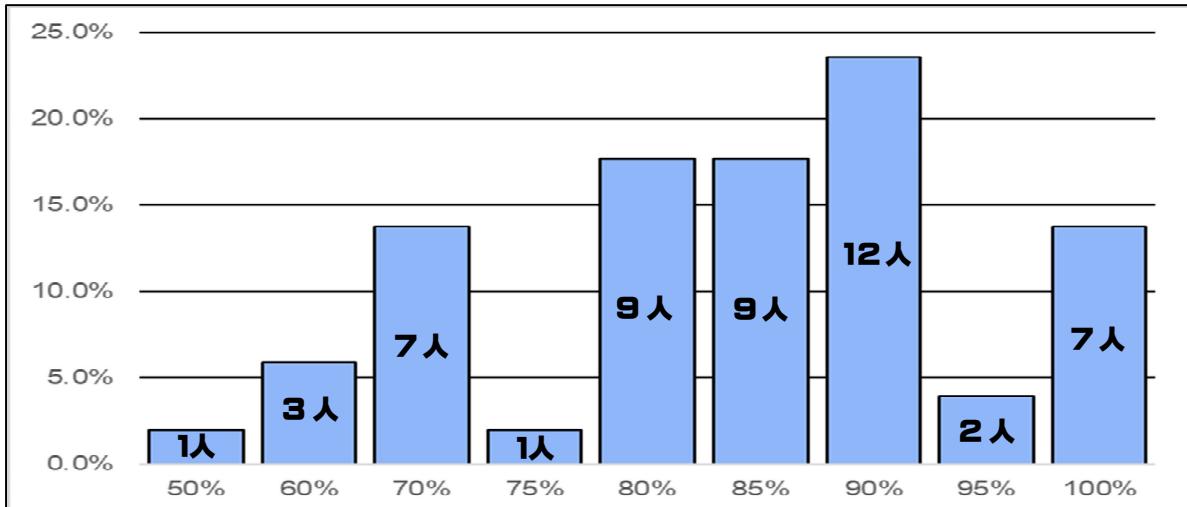
地域学校協働支援担当：小島・山中・坂本（チーフ 山本）

TEL：088-821-4897 FAX：088-821-4505

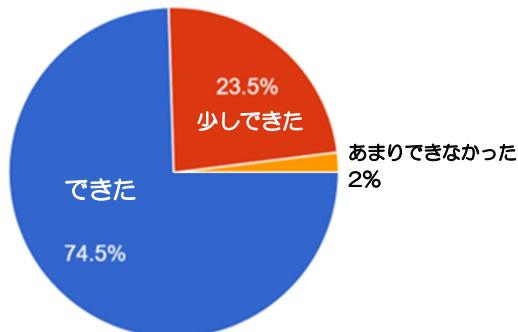
E-mail: nori_ojima@ken2.pref.kochi.lg.jp

令和7年度 高知県地域学校協働活動研修会 兼 地域とともにある学校づくり研究協議会
〔全体研修会〕 〔道徳教育パワーアップ研究協議会〕
アンケート取りまとめ

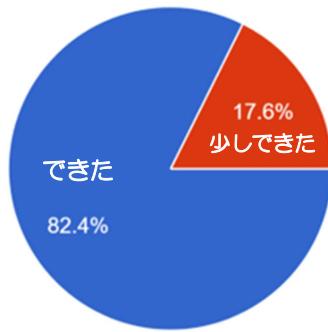
1. 本協議会における満足度は、どれくらいでしたか。数字でお答えください。



2. 全体説明の、内容（高知県の子どもの心の様子、それに関わる取組、学校の地域連携に関する担当の役割等について学習指導要領を基にした説明など）を理解することができましたか。



3. 「基調講演」では、新しい情報等を得ることができましたか。

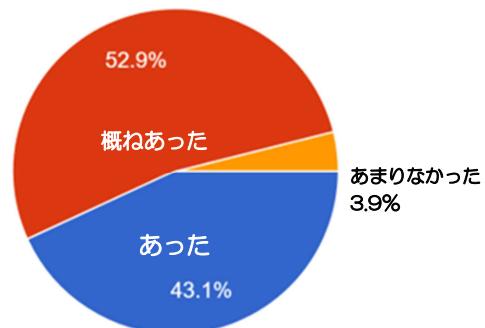


上の質問で「できた」「少しだけできた」と回答した方は、どのような情報を得ることができたか、ご記入ください。

- 学校が抱えている課題を地域と共有して、地域とともに改善策を考えていくこと。
- 子どもを中心として学校や地域、家庭が子どもとつながり、学校教育と社会教育との往還を通して子どもが未来の社会の創り手となるよう、学校や家庭、地域に子どもが参画できるような機会を見出していくことが大切だということ。

- 学校運営委員会の在り方。学校を核とした地域づくり。
- 栃木県の地域の実情やニーズを踏まえた特色ある教育活動を展開し、地域全体で子どもたちを育てていること。
- 学校運営協議会での熟議の大切さと、行動に移すことの大切さ。
- 持続可能なCSのあり方と、CSの仕組みが学校だけでなく地域の活性化に直結していること。また、CSは手段であり、その中でいかに楽しんでつながり合い、広がっていけるかがポイントであるということ。
- コミュニティ・スクールでの話し合いが情報共有のみに終わっているところが多く、熟議をして動き出すことが大事であること。
- 素材を教材化するのは教員の役割であること。コミュニティ・スクールは自らが関わりにいくコミュニケーションスクールだということ。
- 学校の課題をはっきりさせ、地域学校協働本部や学校運営協議会で協議し、学校、保護者、地域みんなで協力して児童に関わっていく良さについて。
- コミュニティ・スクールの必要性や意義、メリットや魅力等について。
- 「コミュニティ・スクールというツールで」「当事者意識」「ゲストティーチャーへの丸投げNG」「熟議」「学校運営協議会で働き方改革を議題にすること」など。
- 実際に児童、校長、学校運営協議会の会長さんという3つの立場からの意見を紹介していただきながら、コミュニティ・スクールの具体についてのイメージを持つこと
- 教職員も異動があるので、持続可能な取組を念頭にして学校と地域が協力していく必要があること。
- コミュニティ・スクールの意義について、当事者意識を関係者一人ひとりが持つことが大切であることまた、課題解決のためのツールとされることやゲストティーチャーとして地域の方を呼んだときの教師としての立ち位置について。
- 地域が「当事者」として学校運営に参画するという意識を高められるようにすることの重要性。
- 地域と連携していくことの重要性、学校だけではできることに制限がある。学校だけでなく地域が双方向で子どもたちの成長に取り組むことで心を育んで行くこと。
- 学校運営協議会への教員としての関わり方。管理職に任せきりだったが、現場での困り感を相談するなど、敷居を高くせずに関わってよいこと。
- 学校運営協議会を中心に、地域の人材や資源を教育に生かす仕組みがあることで、持続可能な教育活動が実現できること。
- 地域行事や体験活動に子どもが主体的に関わることで、自尊感情や社会参画意識が育まれること。
- 地域の力を借りて、学校行事や授業を計画するときに、任せっぱなしではなく、作り上げるところに必ず両者の意向や考えを持って、丁寧に計画実行すること。

3. 「パネルディスカッション」では、参考になる点や自所属での取組に生かそうと思う点がありましたか。



上記の質問で「あった」「概ねあった」と回答した方は、参考になった点や自所属での取組に生かそうと思ったことなどをご記入ください。

- 学校も地域も子どもたちや地域の活性化を理解した取り組みがなされていること。
- 小川校長先生のリーダーシップと春野地域と東洋町の会長さんが生き生きと自分たちの取り組みについて語れることが素晴らしいなと感じた。当事者として、生き生きと語れる協議会になるよう頑張りたい。
- 参考になった点は地域に出会わせたい大人と子どもが出会う機会をどうつくっていくかについて。自校での取り組みに活かしたいことは、例えば、「総合的な学習の時間」の3学年に渡る年間計画の変更について、地域の人材を生かした地域探求のカリキュラム化すること。
- 持続的なCSのために、学校としては、地域の方の力を得て行う活動のポイントとして教育的意義・カリキュラムへの位置づけ、予算、コーディネーターの確保が大事であることが理解できた。本校では教職員間で活動の教育的意義をもっと明らかにし、活動における道徳的目標を活動計画書に明記するなどして、先生方が納得して活動を工夫し目的意識を持って楽しんで行えるようにしていく。
- 学校教育と社会教育を往還させるためのコーディネートを地域と一緒にを行い、共に子どもを育成する意識を持つことが大人の役割であること。
- 子どもたちにどんなふうに育って欲しいのかを共有し、必要な支援を考えるというプロセスを大事にすること。地域で生きていく人を育てなくてはならない。
- 学校の課題を地域の課題として捉え、地域の活性化とともに持続可能な実践を教育課程等に位置づけていくこと。
- 校長、地域コーディネーターの重要性について。コーディネーターの役割や地域の方へのアプローチの仕方について。
- 道徳教育推進教師の役割の中で、家庭や地域社会との連携に関すること教科以外の道徳教育、地域ぐるみの道徳教育の必要性、重要性にあらためて気づくことができた。
- めざす子どもの姿を明確にもち取り組まれている点。社会教育と学校教育の往還や働き方改革とのバランス。
- 自分の地域について知り、子どもたちの周りにいる出会わせたい大人とのつながりが必要であること。
- めざす子ども像を明確にすることで、地域と学校が同じ方向を向いて熟議（対話を重ねて、共に子どものことを考える）すること。
- 春野地域のように地域で一つという組織は有効だと感じたので、横展開できるように情報提供の機会を得ること。

5. 「グループ交流」について、ご感想をご記入ください。

- 他校の現状や、悩んでいることについて、皆で意見を出し合いながら考えることができてよかったです。また、地域コーディネーターの方の悩みや学校ボランティアの方の率直な悩みをお聞きすることができたこともよかったです。
- 他地域の方や、全く違う職種の方々とお話しできてとても新鮮で学びの多い貴重な時間であった。
- グループ内で、色々な立場の方々からCS活動の良いところや今後の課題などを聞けたことが今後の活動にとても参考になった。また、話し合いの中では協働本部での活動について、予算面の課題が多く出された。資金繰りも含めて教材にしていくことや地域の企業などへの協力依頼なども子どもたちが働きかけることで、実現できた事例など聞くことができたのでとても参考になった。
- 運営協議会の方の貴重な意見、活動が進んでいる地域のお話が聞けてたいへん勉強になった。
- 新しいものを入れるという発想ではなく、みんなでよくしていくための動きが大事だと気づくことができた。

- 場所、環境が違っても、地域や子どもたちのことを真剣に考えている方々ばかりだった。いろいろな課題があり、共感できた。
- 問題意識があつて集まった参加者の交流であったので、どういった話題となつても、自分事となる交流となつた。
- 学校としての見方だけでなく、地域の方も学校と共に何かをしたいと考えてくださつてることがわかつり、安心した。
- さまざまな立場の人との交流は、教員だけで交流するのと比べてとても興味深かつた。違う視点から、子どものことを考えるのことは意味があつた。年1回でもいいので学校の教職員が地域の人と交流できたらと思う。
- 持続可能な連携に向けて、地域と学校が話し合う（交流する）場は必要であると感じた。
- 地域の方の話を聞き、学校と一緒にという思いを強くもつていただいていることがわかつた。このような経験は初めてだったので、様々な立場の方の思いを知ることができとても勉強になつた。
- 本校で取り組んでいる防災学習においても、日頃からの学校側からの地域連携や地域発信が、子どもたちの命を救うことに大きくつながることを改めて認識することができた。
- どのような内容で交流するのか、テーマを事前にお知らせいただければ、より一層主事は自身のもうつ事業と重ねて話せたと思う。また、最後にグループの意見を一つの方向にまとめる必要はあるのかな、と思いました。それぞれ立場が違うのだから、それぞれが自身の今後のネクストアクションを見いだし、それを交流しあうので十分ではないかと思う。
- 指導主事の立場で考えることは難しかつた。この研修会の内容をどのように学校現場に落とし込むのか難しいと感じた。

6. その他、本日の研究協議会の内容について、ご意見・ご感想等、ご記入ください。

- いろいろな人と関わりあえ、学校も地域も winwin となるコミュニケーションスクールを意識して取り組んでいきたいと思います。
- 管理職として地域学校協働本部が停滞していることにどうしたらいいのか悩んでいたので今回研修に申し込みました。思った以上に参考できることや挑戦したいことがあり、参加して大変良かつたです。また、このことが道徳と繋がっていることも知りませんでした。本校でも1月にPTA道徳講演会があるので、このような内容にしたいと思いました。
- 子どもたちの心を育む体制づくりを趣旨とし、コミュニティ・スクールというツールを使って、いろいろな学校の在り方を提案できると、笑顔で登校してくる生徒も増えるのではないかと感じた。「地域でないとできないことを教材化するのは教師の役目」という鈴木さんの言葉にハッとさせられた。未来の高知県や生まれ育った地域に誇りや自信をもたせるためにも「つながり」を大切にしつつ強固なものにしていきたいと思う。
- 学校だけでなく、県全体を見渡して学校と地域の教育力の関連など現状を俯瞰でき新たな視点を得ることができた。
- 大変有意義な研修会であり、あつという間に時間のたつた研修でした。初めて本会に参加しましたが、大変勉強になり、とても意味ある会だったと思います。
- 自分のおかれた立場では、何ができるか、教員は現場がかわっても、子どもの学びにつながるアンテナをはり、行動にうつしていくことが大切である、と感じた。自校での地域とのつながりを大切に連携を図りながら、2学期以降も力を注いでいく。
- 実際に地域の方と一緒に道徳している事例を具体的に知りたいと思いました。どのような流れで可能になったかや実際にやってみてどうだったのか等、実践が知れるとさらに自校での取り組みがしやすくなるかと考えました。
- グループ交流の内容や進め方、視点などが配布資料（スライド）の中にあるとありがたかったです。

- 道徳教育パワーアップ研究協議会ということで、道徳教育を地域の力も借りながらどのように進めていくのかをともに考える研修だと思って参加したが、日々の道徳の授業を進めるにあたっての共有や学びは殆どなかった。しかしながら、「地域とともにある学校づくり」という視点での学びは多く、少子高齢化が加速する現状を思うと、今回お話を聞くことができた様々な取組は大変参考になった。それだけに、本市の地域・行政の方の参加がなかったのが大変残念。
- 道徳教育パワーアップ研究協議会についているので、もう少し道徳教育に関連した内容もあればよいかなと感じた。
- 地域と学校が協働することで、子どもたちの教育活動の質が上がり幅が広がっていくのであれば、管理職だけでなく教員みんなで取り組んでいければと思った。
- 開催時間を短くしたりリモート参加にしたりするなど工夫をして、もっと多くの管理職や教職員が参加できればよいと思った。校長、地域コーディネーターが大変重要なので、両者には来てもらいたい。
- パネルディスカッションの中で発表されたそれぞれの発表の中で、持続可能な社会のつくり手を育成するコミュニティ・スクールを誰がどのように立ち上げてきたのかがわかるパネリストの発言が参考になった。一部の教職員（管理職）だけでなく難しい面はあるが全教職員のベクトルと保護者、地域、行政のベクトルが揃う取り組みをされているところから考えていきたいと思った。
- 地域との連携について考えさせられる良い機会になった。子どもたちの心の向上のためにも地域や家庭と手を取り合って取り組んでいきたいと感じた。
- 仕事の合間にコーディネーターしていただくので遠慮もでてくる。設置者との方向性の擦り合わせをした後、学校とコーディネーターが話をするなどの対策も今後必要でないか。
- 研修会を通じて得られた学びに感謝。同じ悩みを抱える仲間の声や、推進的な実践例を知ることで視野が広がった。事務局の皆さまのご尽力に心から感謝したい。
- 事務所の指導主事として出来ることを考えるきっかけとなりました。
- グループ協議では、中部教育事務所という立場から、中々当事者意識を持った協議への参加が難しく、聞くことが中心になってしまったことが残念であった。やはり学校現場で実際に特活や総合を担当されていらっしゃる先生方にこの地域の声を聞いていただき、よりダイナミックな特活や総合の取組をしていただけたら嬉しく思います。今後このような会を開催される場合は、もう少し詳細な要項をいただければ、自分の目的も見いだして参加できるのではないかと思いました。

登下校防犯プランの概要

登下校時における子供の安全の課題

- (1) 子供の被害は登下校、特に下校時(15~18時)に集中
犯罪件数が減少する中、ほぼ横ばいで推移
 - (2) ①既存の防犯ボランティアの高齢化、②共働き家庭の増加
→ 「地域の目」が減少、「見守りの空白地帯」が生じている
- 登下校時における総合的な防犯対策の強化が急務

2. 通学路の合同点検の徹底及び環境の整備・改善

- (1) 多様な世代や事業者が日常活動の機会に気軽に実施できる「ながら見守り」等の推進
- (2) スクールガードの養成、防犯ボランティア団体の活動等の支援
- (3) 「子供110番の家・車」への支援等

4. 多様な担い手による見守りの活性化

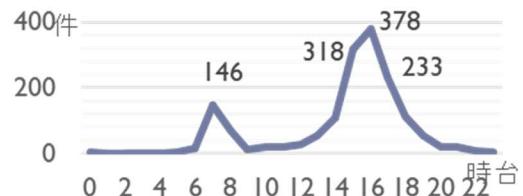
- (1) 通学路の防犯の観点による緊急合同点検の実施、危険箇所に関する情報共有
- (2) 危険箇所の重点的な警戒・見守り
- (3) 防犯カメラの設置に関する支援、防犯まちづくりの推進

1. 地域における連携の強化

- (1) 登下校時における防犯対策に関する「地域の連携の場」の構築
- (2) 政府の「登下校防犯ポータルサイト」による取組の支援



子供(13歳未満)が被害者となる身体犯の発生状況
(土日除く。道路上での事案に限る)(H27~29年累計)



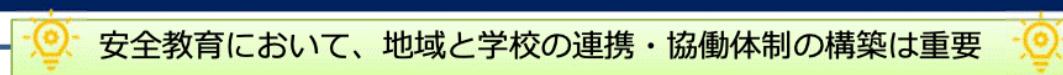
3. 不審者情報等の共有及び迅速な対応

- (1) 警察・教育委員会・学校間の情報共有
- (2) 地域住民等による効果的な見守りや迅速な対応に資する情報の提供・発信
- (3) 放課後児童クラブ・放課後子供教室等の安全対策の推進

5. 子供の危険回避に関する対策の促進

- (1) 防犯教育の充実
- (2) 集団登下校、ICタグ、スクールバス等を活用した登下校の安全確保の推進

コミュニティ・スクール、地域学校協働本部と連携した学校安全の取組



「地域学校協働活動」：幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

- ◆ 学校と地域が一体となって防災・防犯・交通安全に取り組むことができる
- ◆ 教育課程内の取組においても、地域の力を生かした授業づくりが可能になる

学校（コミュニティ・スクール※）

※ 学校運営協議会を設置している学校を指す。

学校運営協議会

学校運営への必要な支援に関する協議を行う合議体。地域の実情に応じて防災・防犯・交通安全も協議され得る。
<主な役割>

- ①校長が作成する学校運営の基本方針の承認
- ②学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
- ③教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができること



保護者、地域学校協働活動推進員、地域住民など

●授業づくりなど

「総合的な学習の時間」等の授業において、地域住民や消防署・消防団等の専門家と連携し、出前授業などを通じて防災・防犯・交通安全教育を実施。

- ・地域と学校の協働による防災マップや地域安全マップの作成
- ・学校内の安全点検への協力

地域と学校が連携した安全教育の実現（地域学校協働活動）

●地域と学校の協働による防災訓練、防災キャンプの実施

地域の防災訓練と学校の防災訓練を合同で実施。引き渡し訓練、防災かまどづくり、炊き出しシミュレーション等を地域住民と子供たちがチームとなって実施。

⇒実際に災害が発生した際に、学校が避難所となる場合において、発災直後の教職員による一時的な運営から住民・防災部局のスムーズな移行が可能になる



●実践的な防災体験学習

消防署や消防団等の専門家の協力の下、防災体験活動（起震車体験、ペットボトルロ過器の作成、ロープワーク体験、AED体験等）を実施。

●防犯・交通安全の取組

地域住民による登下校の見守り 等



地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

令和3年度予算額(案) 338百万円

(前年度予算額

338百万円)



学校、通学路の安全確保に向け、昨今の児童生徒の尊い命を奪う交通事故・事件の発生も踏まえ、スクールガード・リーダー増員による見守りの充実や、スクールガード等のボランティアの養成・資質向上を促進することにより、警察や保護者、PTA等との連携の下で見守り体制の一層の強化を図る。

■実施主体:都道府県及び市町村

■補助率:国庫補助率1/3、都道府県・市町村各1/3 ※市町村直接実施の場合2/3負担

スクールガード・リーダーの育成支援

- スクールガード・リーダーの資質を備えた人材（警察官OB・教職員OB・防犯協会役員等）に対する育成講習会の実施

スクールガード・リーダーに対する活動支援

- スクールガード・リーダーによる指導、見守り活動に対する謝金、各学校を定期的に巡回するための旅費等の補助
- 学校等の巡回活動等を円滑にするためにスクールガード・リーダーの連絡会等の開催を支援、装備品の充実

スクールガード・リーダー育成講習会、スクールガード養成講習会の開催に係る経費を補助し、見守りの人材確保と質の向上



スクールガード（ボランティア）の養成・資質向上

- 通学路で子供たちを見守るスクールガードの防犯に対する知識、非常時の対応策等を身に付けさせるための養成講習会を実施
- 活動の参考となる資料を配布することによる見守りの質の向上

スクールガード増員による見守りの強化及び活動に対する支援

- 「登下校防犯プラン」等に基づく、登下校時のパトロールや地域の連携の場構築など防犯活動への支援
- 子供の見守り活動に係る帽子や腕章などの消耗品費、ボランティア保険料の補助

スクールガード・リーダーがスクールガードに対して、見守り活動・警備上のポイントや不審者対応等について指導・助言

地域ぐるみで子供の安全を守る体制構築

高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

目的・・・地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、子どもたちが、安全で安心して学校生活を送ることができる学校の確立をめざす。

②
スクールガード養成講習会
の開催

①スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバスの乗車時も含む）の巡回指導等の実施

③スクールガード等の増員のための活動の実施及び学校安全活動の実施

☆スクールガード（学校安全ボランティア）を養成するための講習会の開催

☆警察官OB等、防犯の専門家をスクールガード・リーダーとして委嘱
☆学校への巡回指導、登下校の見守り活動への助言、を実施

☆スクールガード等を増員するための広報活動等の施策を実施
☆学校、家庭、地域が連携して子どもの安全を見守る活動を実施

地域ぐるみで子どもの安全を守る体制の確立

高知県犯罪のない安全安心まちづくり条例

第16条1項 学校等における児童等の安全の確保のための指針

第17条1項¹⁸ 通学路等における児童等の安全の確保のための指針

高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金

補助率：2/3（国1/3・県1/3） *中核市除く市町村が対象

◎次の①～③の事業を単独実施でも複数実施でも可

	事業名	事業内容	補助対象経費	経費に係る留意事項	R7年度の状況
①	スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバスの乗車時も含む）巡回指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・警察官OBや教職員OB、地域安全活動の中心として活動している者等をスクールガード・リーダーとして委嘱する。 ・スクールガード・リーダーは、各学校を定期的に巡回し、警備のポイント、改善すべき点などの指導や、スクールガード（学校安全ボランティア）に対する助言等を行う。 ・スクールガード・リーダーの配置人数、対象とする範囲については、各地域の実情に応じて決めることができるところとするが、小学校5校に対して1名程度の割合を原則とする。 ・なお、巡回指導等の対象校については、幼稚園、保育所、中学校、特別支援学校等も対象とすることができる。 	・報償費	<p>(注意事項) 国の予算等の都合により希望どおりとならない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報償費のみ。1日2時間以上の活動、5千円を上限とする。 ・スクールガード・リーダーの活動日数については、年間120日以内とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・23市町村で実施 ・スクールガード・リーダー45名に委嘱
②	スクールガード養成講習会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や通学路で子どもたちを見守るスクールガードを養成するための講習会を開催する。 ・なお、開催に当たっては、多くの方々が参加することができるよう、開催場所、開催回数等に配慮するものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費（講師謝金） ・旅費 ・使用料及び賃借料（会場借上料） ・需用費（印刷製本費、消耗品費） ・役務費（通信運搬費・保険料） 	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガード養成講習会の開催経費については、10万円を上限とする。 ・ただし、スクールガードに対する報償費、旅費は対象外とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸市で実施
③	スクールガード等の増員のための活動及び学校安全活動	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガード等を増員するための広報活動等施策を実施する。 ・安全のために、学校安全ボランティア等を活用しつつ、登下校時におけるパトロール、防犯・防災訓練の実施、地域安全マップの作成等、学校・家庭・地域が一体となり子どもの安全に関する取組を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費（講師謝金） ・旅費 ・使用料及び賃借料（会場借上料） ・需用費（印刷製本費、消耗品費） ・役務費（通信運搬費・保険料） 	<ul style="list-style-type: none"> ・帽子や腕章など見守り活動に直接必要な経費及び家庭や地域の関係機関・団体と連携の場の構築に必要な経費とし、1市町村につき30万円を上限とする。ただし、スクールガードに対する報償費及び旅費は、原則として対象外とする。 ・なお、消耗品費等については、学校やPTAが使用するものと明確に区別すること。 ・スクールガード・リーダーやスクールガード等の装備品（さすまた、防刃ベスト・グローブ等）を対象とすることができる。 ・備品購入費は、対象外とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・芸西村、香南市、南国市、いの町、梼原町、中土佐町、宿毛市、大月町で実施

令和7年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 スクールガード・リーダー名簿

No.	担当地域 (市町村等)	登録 年度	巡回等 学校数 (うち 小学校)	拠点校 (部署)	巡回担当予定校 (園)	教育委員会		
						担当部署	担当者	連絡先 (tel・fax)
1	室戸市	H18	4	2	室戸市 教育研究所	佐喜浜小、室戸小、 佐喜浜中、室戸中	室戸市教育委員会 学校教育課	門脇 一馬 tel 0887-22-5141 fax 0887-22-1120
2		H19	4	2		吉良川小、羽根小、 吉良川中、羽根中		
3	安芸市	H30	3	2	安芸市 少年育成 センター	川北小、土居小、安芸中	安芸市 少年育成センター	勝賀瀬 浩太 tel 0887-35-1020 fax 0887-35-1051
4		H25	3	3		下山小、伊尾木小 井ノ口小		
5		H31	3	3		赤野小、穴内小 安芸第一小		
6	東洋町	H23	1	1	野根中学校	野根中	東洋町教育委員会	土屋 美奈子 tel 0887-29-3037 fax 0887-24-3102
7		R2	2	1	甲浦小学校	甲浦小 甲浦中		
8	奈半利町	H22	2	1	奈半利町 教育委員会	奈半利小、認定こども園なはり	奈半利町教育委員会	天野 恵太 tel 0887-38-8188 fax 0887-38-8166
9	北川村	R3	2	1	北川村 教育委員会	北川小、北川中	北川村教育委員会	大西 貴美子 tel 0887-32-1223 fax 0887-32-1132
10	安田町	R2	2	1	安田町 教育委員会	安田小、安田中	安田町教育委員会	大寺 博子 tel 0887-38-6714 fax 0887-38-6717
11	芸西村	R5	4	1	芸西村 教育委員会	芸西小、芸西中、 芸西幼稚園、芸西保育所、	芸西村教育委員会	都築 青空 tel 0887-33-2400 fax 0887-32-2014
12	香南市	R6	5	3	香南市 教育委員会	佐古小、香我美小、夜須小、 夜須中、香我美中	香南市教育委員会 学校教育課	石原 正仁 tel 0887-50-3019 fax 0887-50-3020
13		R3	6	4		赤岡小、野市小、野市東小、 吉川小、赤岡中、野市中		
14	南国市	R2	4	4	南国市 教育委員会	岡豊小、久礼田小、国府小、 奈路小	南国市教育委員会 学校教育課	西 宝子 tel 088-880-6568 fax 088-880-6201
15		H24	4	4		後免野田小、長岡小、日章小、 大塚小		
16		H27	4	4		大塚小、三和小、稻生小、 十市小		
17		R5	1	1		白木谷小		
18	大豊町	R4	1	1	大豊町 教育委員会	大豊学園 (義務教育学校)	大豊町教育委員会 人づくり班	宮岡 佐知子 tel 0887-72-1031 fax 0887-72-1032
19	いの町	R5	2	1	いの町 教育委員会	伊野南小、伊野南中	いの町教育委員会	折付 曜和 tel 088-893-1922 fax 088-893-2121
20		R6	1	1		枝川小		
21		新	1	1		川内小		
22	土佐市	H30	6	4	土佐市 少年育成 センター	土佐南中、新居小、高石小、高岡第 一小、高岡中、宇佐小	土佐市 少年育成センター	田原 竜平 tel 088-852-7696 fax 088-852-5241
23		H30	6	5		高岡第二小、蓮池小、波介小、北原 小、戸波小、戸波中		
24	須崎市	R3	7	4	多ノ郷小学校	南小、多ノ郷小、吾桑小、浦ノ内小 南中、浦ノ内中、朝ヶ丘中	須崎市教育委員会 学校教育課	岡崎 美紀 tel 0889-42-5291 fax 0889-40-0073
25		R5	6	4	須崎小学校	上分小、新莊小、安和小、須崎小 上分中、須崎中		
26	日高村	H21	5	3	日高村教育委員会	加茂小、日下小、能津小 日高中、加茂中	日高村教育委員会	山本 奈央 tel 0889-24-5115 fax 0889-20-1572
27	梼原町	R2	2	1	梼原学園	梼原小 梼原中	梼原町教育委員会 生涯学習課	山本 智也 tel 0889-65-1350 fax 0889-40-2055
28	中土佐町	新	7	3	中土佐町 教育委員会	久礼小学校、上ノ加江小学校、大野 見小学校、久礼中学校、大野見中學 校、久礼保育所、大野見保育所	中土佐町教育委員会	梅原 幸司 tel 0889-52-2661 fax 0889-52-2013
29	四万十町	新	3	3	四万十町 少年補導 センター	東又小、影野小、仁井田小	四万十町教育委員会 生涯学習課	中村 良輔 tel 0880-22-3576 fax 0880-29-0073
30		R5	4	4		川口小、窪川小、七里小、米奥小		
31		H29	3	3		田野々小、十和小、北ノ川小		
32	四万十市	R2	4	3	具同小学校	具同小、中筋小、東中筋小 中村西中	四万十市教育委員会 学校教育課	稻田 智洋 tel 0880-34-5445 fax 0880-34-4271
33		H30	4	4	中村南小学校	中村南小、竹島小、下田小、八束小		
34		R5	2	1	西土佐小学校	西土佐小、西土佐中		
35		R6	4	3	東山小学校	東山小、大用小、蕨岡小、中村中		
36		H27	3	2	中村小学校	中村小、利岡小、中村中		
37	土佐清水市	新	5	3	土佐清水市 少年補導 センター	溝水小、足摺岬小、溝水中、 さらら清水保育園、溝水幼稚園	土佐清水市 少年補導センター	永野 博文 tel 0880-82-3501 fax 0880-83-0782
38		R1	2	1		三崎小、三崎保育園		
39	宿毛市	新	4	4	宿毛市 青少年育成 センター	宿毛小、咸陽小、平田小、 山奈小	宿毛市教育委員会 学校教育課	山岡 理奈 tel 0880-62-1246 fax 0880-62-1272
40		新	4	4		宿毛小、大島小、咸陽小、 小筑紫小		
41	黒潮町	H19	3	2	黒潮町 こどもサポートセンター	拳ノ川小、佐賀小 佐賀中	黒潮町教育委員会 生涯学習係	宮上 昌人 tel 0880-55-3117 fax 0880-55-3119
42		H28	6	5		上川口小、南郷小、入野小、 三浦小、田ノ口小、大方中		
43	三原村	H30	2	1	三原村 教育委員会	三原小、三原中	三原村教育委員会 学校教育係	多智花 宏美 tel 0880-46-2559 fax 0880-46-2560
44	大月町	R1	2	1	大月小学校	大月小、大月中	大月町教育委員会	島崎 陸 tel 0880-73-1118 fax 0880-73-1815
45		R5	2	1		大月小、大月中		
23市町村		155	111					

愛犬家の皆さんへ

～子どもたちを犯罪から守ろう～

わんわんパトロール運動に ご協力ください

登下校時の子どもたちの安心・安全を守るために、南国市教育委員会では、学校・保護者・地域住民と協力しながら、地域ぐるみの地域安全ボランティア活動を推進していきます！！

わんわんパトロールとは？

愛犬家の皆さんのご協力を得て、子どもたちの登下校時
(登校：7時30分～8時10分、下校：15時30分～16時30分ごろ)

に合わせて、犬の散歩コースを通学路などにして、地域みんなで「見守りの目」を広げるものです。

昨今、全国的にみると、子どもの下校時間帯において、犯罪被害が多く発生している傾向があります。地域の温かい見守りの目を増やし、子どもたちの安心・安全を守っていきましょう。ぜひ、ご協力をお願いします！！

協力者には南国市教育委員会から委嘱状と名札及びバックを、愛犬には
バンダナを配付いたします。



【登録申請 QR コード】



【問い合わせ先】

南国市教育委員会学校教育課

(088) 880-6568

令和7年度 スクールガード・リーダー活動内容



提供：高知県スクールガード・リーダー連絡協議会 元会長 山下正和 氏

高知県教育委員会

令和7年度 高知県地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業

事業の目的

子どもたちが安全で安心して教育を受けられるよう、学校や通学路における子どもの安全を確保するため、学校、家庭及び地域の関係機関・団体が連携を図り、地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。



事業の内容

- (1) スクールガード・リーダーによる学校や通学路（スクールバスの乗車時も含む）の巡回指導等の実施
- (2) スクールガード養成講習会の開催
- (3) スクールガード等の増員のための活動の実施及び学校安全活動の実施



◆スクールガード・リーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施

スクールガード・リーダー

- (1) 3つの視点をもった活動（防犯の視点、組織連携の視点、教育の視点）
- (2) 巡回指導を通しての現状把握、課題発見、情報発信
- (3) スクールガード（学校安全ボランティア）による見守り活動のポイント指導
- (4) スクールガード・リーダー同士の情報交換

市町村教育委員会

- (1) スクールガード・リーダーとの情報共有
- (2) 事業の主旨・内容について学校への周知徹底
- (3) スクールガード（学校安全ボランティア）の立ち上げ及び活動の充実
- (4) 地域の防犯体制づくり（「登下校防犯プラン」に基づく）地域の連携の場の活用

学校

- (1) 「高知県安全教育プログラム」に基づく、防犯教育の推進（防犯教室・防犯訓練の実施、危機管理の徹底・不審者侵入への対応等）
- (2) スクールガード・リーダーやスクールガード（学校安全ボランティア）との情報共有
- (3) スクールガード組織（学校安全ボランティア）と協働した取組の実施
- (4) スクールガード・リーダー、教育委員会、警察、PTA（保護者）、地域等との情報共有

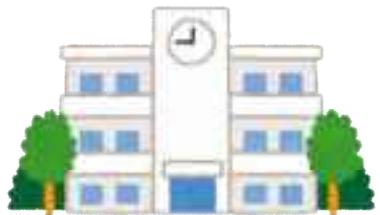
◆スクールガード・リーダーの活動内容

1 学校や通学路の巡回指導

担当区域内の小学校等を巡回し、学校内や通学路の安全確保、学校に対する指導助言を行う。

(1) 学校内の安全確保

- ① 不審者侵入を防ぐための校門の開閉状況の確認
- ② 校門以外で学校への侵入が可能な場所の点検
- ③ 学校への危険箇所の報告 など



(2) 通学路の安全確保（犯罪の起きやすい場所）

- ① 危険箇所の点検・報告、児童生徒等の登下校の状況把握・指導
- ② 入りやすくて見えにくい場所（資材置き場、トンネル、空き家等）
- ③ 落書き等のある場所
- ④ 人通りの少ない道路
- ⑤ 片側が長く続く壁等になっていて逃げ場のない道路 など



(3) 学校行事等における警戒

(4) 学校への防犯に関する指導助言



スクールガード・リーダーによる、
学校周囲の確認活動、登下校時の見守り活動の様子。



2 スクールガード（学校安全ボランティア）への指導助言

地域ぐるみで学校安全の取組ができるよう、スクールガード（学校安全ボランティア）に対して指導助言を行う。

- (1) スクールガード組織（学校安全ボランティア組織）との連携
- (2) 見守り活動のポイントについての指導助言
- (3) 学校から的情報伝達（不審者情報、下校時刻の変更、休日に学校行事がある場合等）
- (4) 学校や教育委員会がスクールガード組織（学校安全ボランティア組織）を立ち上げる際の協力

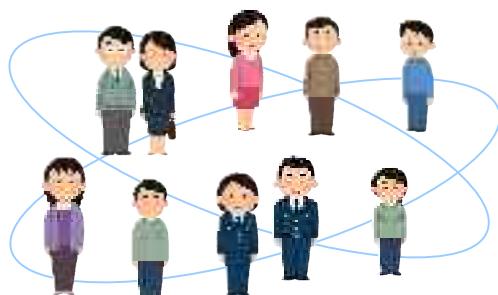


3 関係機関との連携

学校、教育委員会、警察、スクールソーター等の関係機関との連携を図る。

- (1) 不審者情報や事件等の情報の共有
- (2) 緊急時における対応の確認

※ 教育委員会は不審者情報等があった場合には、スクールガード・リーダーに連絡し、情報の共有を図る。また、緊急時の連絡体制を整備し、対応についてスクールガード・リーダーと確認する。



地域との連携強化
保護者・関係機関・地域の方が連携し、
見守り活動や安全確保、安全教育に協力いただく様子。

4 防犯教室、防犯訓練への参加

学校が開催する防犯教室や防犯訓練に参加し、警察等と連携して、子どもへの登下校中の防犯指導や学校への指導助言を行う。



スクールガード・リーダーの
学校訪問による防犯教室の様子。

(1) 防犯教室（子どもへの指導等）の内容例

- ① 講義
- ② 実技、ロールプレイ（場面を想定した役割演技による訓練）
 - ・「いかのおすし」
 - ・「こども110番のいえ」
 - ・予防的な指導、事件に遭ったときの対処法



(2) 防犯訓練（教職員に対する指導等）の内容例

- ① 不審者侵入等を想定して、実際に対応、避難する訓練
 - ・子どもの安全確保について
 - ・さすまた等、用具の使い方 等
- ② 危機管理マニュアルの確認・見直し



(※必要に応じて、訓練で明らかになった課題への対策をマニュアルに反映させる)

(※教育委員会は、学校から要請があった場合、協議のうえ、スクールガード・リーダーに防犯教室等への参加を依頼することができる。)



不審者対応訓練、不審者対応に関する研修会の様子。

關係機關連絡先

* 教育委員会や巡回学校、最寄りの警察署等、関係機関の連絡先などご記入ください。



令和3年3月 発行

令和6年6月 改訂

発行元：文部科学省総合教育政策局

男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室

＼やってみよう！／

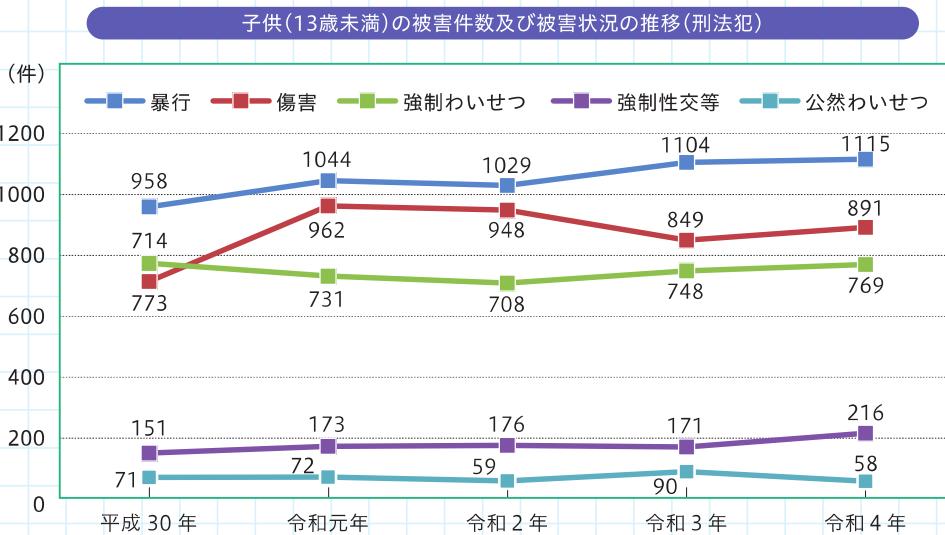
登下校 見守り活動 ハンドブック



1 はじめに

安全・安心な登下校の実現に向けて

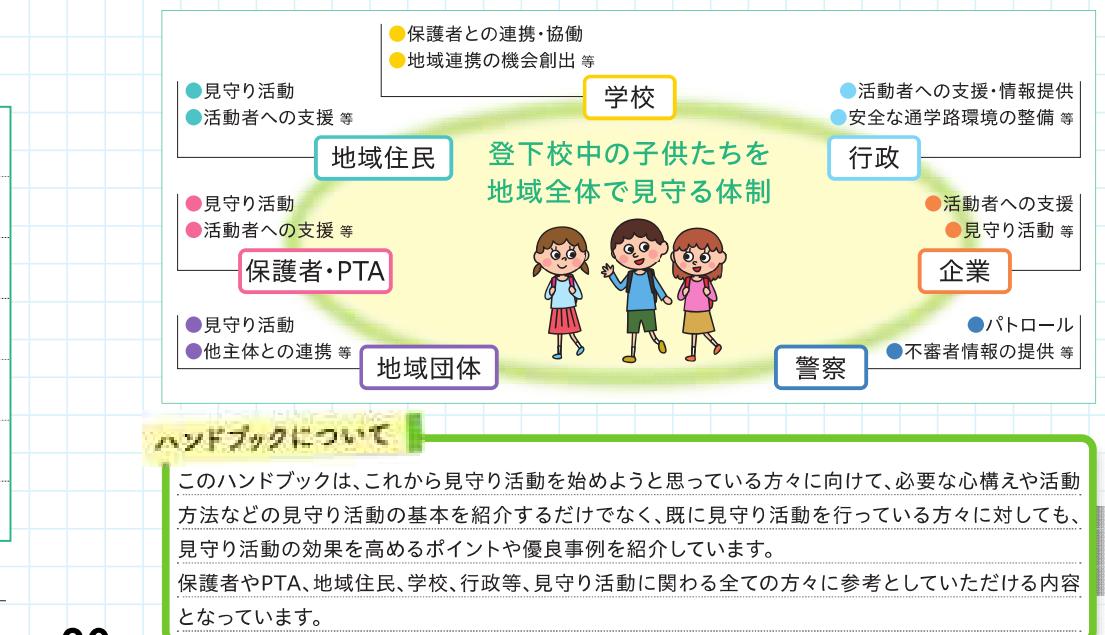
- 全国で子供が登下校中に犯罪被害に遭うケースがみられます。被害の多くは、子供だけで行動しているときや、人の目が少ない状況で発生しています。
- こうした犯罪被害を減らすためには、地域全体で、登下校中の子供たちの見守り活動をすることが欠かせません。
- 一方で、見守り活動を含めた防犯ボランティア活動者数は近年減少しており、今、みなさんの協力が求められています。



(出典)令和5年版警察白書より作成

地域ぐるみの見守り活動と効果

- 登下校時の見守り活動は、学校を中心に、保護者やPTA、地域住民、行政、警察、民間企業、地域団体等が一致団結して連携・協働し、地域全体で取り組むことが重要です。
- 一人一人ができる範囲で、子供たちや地域へ目を向け、見守り活動を実施することで、犯罪や事故が起きにくい環境をつくることができます。
- なお、見守り活動は無理なく行いましょう。小さな取組の積み重ねによって、地域全体で子供たちの安全を守る環境が生まれるとともに、地域コミュニティの活性化も期待できます。



2 活動してみよう

見守り活動の例

- 見守り活動の代表例として次のような活動があります。

定点見守り

特に交通量の多い交差点や、見通しの悪い道、人通りの少ない道などに立って、子供が安全に通行できているか見守ります。

立つ場所は、活動者が自ら考えて決める場合や、活動団体や組織で決まった場所とする場合などがあります。



点検・巡回

登下校中に限らず、通学路を点検・巡回しながら危険箇所を把握し、学校や市町村へ報告することも重要な見守り活動のひとつです。



登下校への付き添い

特定の区間あるいは学校まで子供に付き添って見守ります。通学路が広域にわたる場合には地区ごとに付き添いの引き継ぎをする例や、活動者の自宅周辺の子供にスクールバスの停留所まで付き添う例もあります。



ながら見守り

特に登下校時間帯に合わせて外に出て花に水やりをする、家の前で掃き掃除をする、通勤時間をずらす、犬の散歩をするなど、時間と場所を工夫して、何かをしながら登下校中の子供たちを見守ります。



見守り活動の心構え

- 地域住民による見守り活動は「地域活動」の一環です。警察等が実施するような「警戒・パトロール(警ら)」ではありません。
- 一人一人が無理なく、できる範囲で取り組むことが重要です。

見守り活動の始め方

- 「子供見守り隊」や「スクールガード」、「安全サポーター」等、見守り活動団体の呼び方は様々です。既に活動している団体について知りたい場合は、お住まいの市町村や近くの学校に問い合わせてみてください。
- また、こうした団体に所属せずに行う「ながら見守り」等も大切な見守り活動の一つです。各自のライフスタイルに合わせて、子供たちや地域へ少しだけ意識を向けることで、登下校時の「子供たちを見守る目」や、通学路の「危険箇所の発見」を増やすことにつながります。



見守り活動者の方々へ 活動を始める前に確認しましょう

- 以下の行為はやめましょう。
 - ✗ 活動の強制
 - ✗ 警察が実施するような取り締まりや警棒等の武器の所持
 - ✗ 子供との過度なコミュニケーション（過度な接触、あめ・ガム等を含む飲食物の提供、自家用車や私有地への招待、連絡先の交換等）
 - ✗ 子供を叱る、しつけようとする行為（子供の安全を守るための指導は可）

- 万が一に備えてボランティア保険や防犯協会等の団体保険に加入しましょう。保険料を補助する市町村もあるので、問い合わせてみましょう。

市町村・学校の方々へ 関心を持った人を大事にしましょう

- 地域住民から「見守り活動をしたい」と問い合わせがあつたら、見守り活動を所管する課・担当者につなぐ、あるいは実際に活動する団体のリーダー等に紹介するようにしましょう。

コラム
1

見守り活動を始めたきっかけは自分のため。
それが子供の安全につながる。

鳥取県湯梨浜町オレンジベスト隊 隊員

長続きする方は「自分のため」に活動している人が多いです。私自身も見守り活動により、子供たちの登下校時間に合わせて規則正しい生活を送れるようになりました。見守り活動を通じて、子供たちから元気をもらい、心身ともに健康な日々を過ごしています。

見守り活動時の持ち物とは？

- 見守り活動時の持ち物の例は次のとおりです。必ずしも全てを準備する必要はありませんが、見守り活動中であることが一目で分かることが、活動のしやすさや、犯罪を防ぐ効果を得られるほか、子供の安心感にもつながります。

具体例 見守り活動時の持ち物やあると便利なものの例

■ ベスト・ジャンパー	蛍光色など目立つ色とし、反射材が付いているとよい。
■ 帽子	蛍光色など目立つ色とし、反射材が付いているとよい。 また、様々な季節に対応できるよう、夏用・冬用があるとなおよい。
■ タスキ・腕章	蛍光色など目立つ色とするとよい。
■ 名札	見守り活動者であることを示すものとして携行するとよい。
■ 横断旗	横断歩道や交差点を見守る際にあるとよい。

※上記のものは、市町村が貸与したり、見守り活動団体が独自に準備したりする例が多くあります。



▲活動時の帽子・腕章・名札
(千葉県千葉市)



▲活動時のジャンパー
(宮城県白石市)

- 見守り活動に必要な装備品・携行品は、学校や市町村が貸出もしくは提供している場合がありますので、まずは相談してみましょう。

■ 携帯電話	緊急時にすぐ110番通報ができる。 また、学校や行政担当者の連絡先を控えておくのに便利。
■ ペン・メモ帳	活動中に感じたことや危険箇所等の情報の記録に使用。
■ 懐中電灯	活動中に辺りが暗くなる場所では携行しているとよい。 なお、人や車両等には向けないようにしましょう。
■ 笛・防犯ブザー	危険が生じたときに、当事者や周囲に知らせるために携行しているとよい。
■ 飲料水	特に夏季の活動中には適度な水分補給が重要。



▲見守り活動中ステッカー(宮城県塩竈市)

見守り活動の効果を高めるためには?

▶ 「見てもらう」ことを意識しよう

- 見守り活動は、活動をしている姿を見てもらう(地域住民に活動を認知してもらう)ことが重要です。
- 活動が認知されることにより、子供や地域住民の安心感につながるのはもちろん、運転者が気を付けるようになる、犯罪を企てていた人が犯行をやめるなどの効果が期待できます。
- 一方で、子供や地域住民から見られていることを意識し、態度や言動、身だしなみに注意しましょう。また、警察が実施するような交通整理等は控えましょう。



▶ 挨拶や声かけをしよう

- 子供への挨拶・声かけはもちろんのこと、地域住民への挨拶も積極的に行い、見守り活動を実施していることを皆さんに知ってもらいましょう。
- 不審な行動を取る人や犯罪を企てている人は声をかけられることを嫌います。積極的な挨拶が、犯罪抑止につながります。
- 加えて、活動者同士でも積極的に挨拶をしましょう。活動者間のコミュニケーションは、地域コミュニティの活性化にもつながります。なお、良好なコミュニケーションには「挨拶(こんにちは) + 一言(状況はどうですか? 初めてお会いしましたか? 等)」がポイントです。

見守り活動者の方々へ 挨拶や声かけのワンポイント

- 子供たちの横断のために止まってくれた運転者に対して会釈するなどの、少しの心遣いが運転者の協力しようという意識につながります。
- コミュニケーションが苦手な子供もいます。挨拶を返さなかった子供に対して「挨拶しなさい」などと叱ることは控えましょう。

▶ 地域ぐるみで連携・協働しよう

- 見守り活動をさらに効果的なものにしていくため、学校や市町村、警察と連携し、地域ぐるみで活動しましょう。
- 地域内で実施されている他の見守り活動者や防犯ボランティア団体とも積極的にコミュニケーションを取り、見守り活動上の役割や見守る時間・場所を分担するなど、協働して活動しましょう。実際に活動している人をマッピングしてみると、見守りの空白地帯が分かりやすくなります。

市町村・学校の方々へ

見守り活動者と活動団体の連携・協働を主導しましょう

- 市町村内で活動する団体間の連携を図るには、市町村や学校の協力が必要不可欠です。積極的に交流できる機会をつくりましょう。協議会や意見交換会、研修会等を開催するのも一つの手段です。
- 「コミュニティ・スクール（学校運営協議会）」において見守り活動を取り上げたり、学校と地域が相互にパートナーとして行う「地域学校協働活動」の中で登下校の見守り活動を行うことも考えられます。

コミュニティ・スクール、地域学校協働活動について

「学校と地域でつくる学びの未来」

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/>



▶ 「ホウ(報告)・レン(連絡)・ソウ(相談)」を意識しよう

- 活動中に感じたことや気付いたこと、危険を感じたできごとは活動者間で共有しましょう。簡単な活動日誌を付けている例もあります。
- 場合によっては、学校や市町村に共有すべきこともあります。事前に連絡体制を構築し、「誰に（○○先生、△△主事等）」「どのように（電話、メール、FAX等）」情報を連絡すべきか決めておきましょう。
- 市町村・警察等が配信する安全・安心メールやSNSを登録し、通学路の安全に関する情報をチェックしましょう。

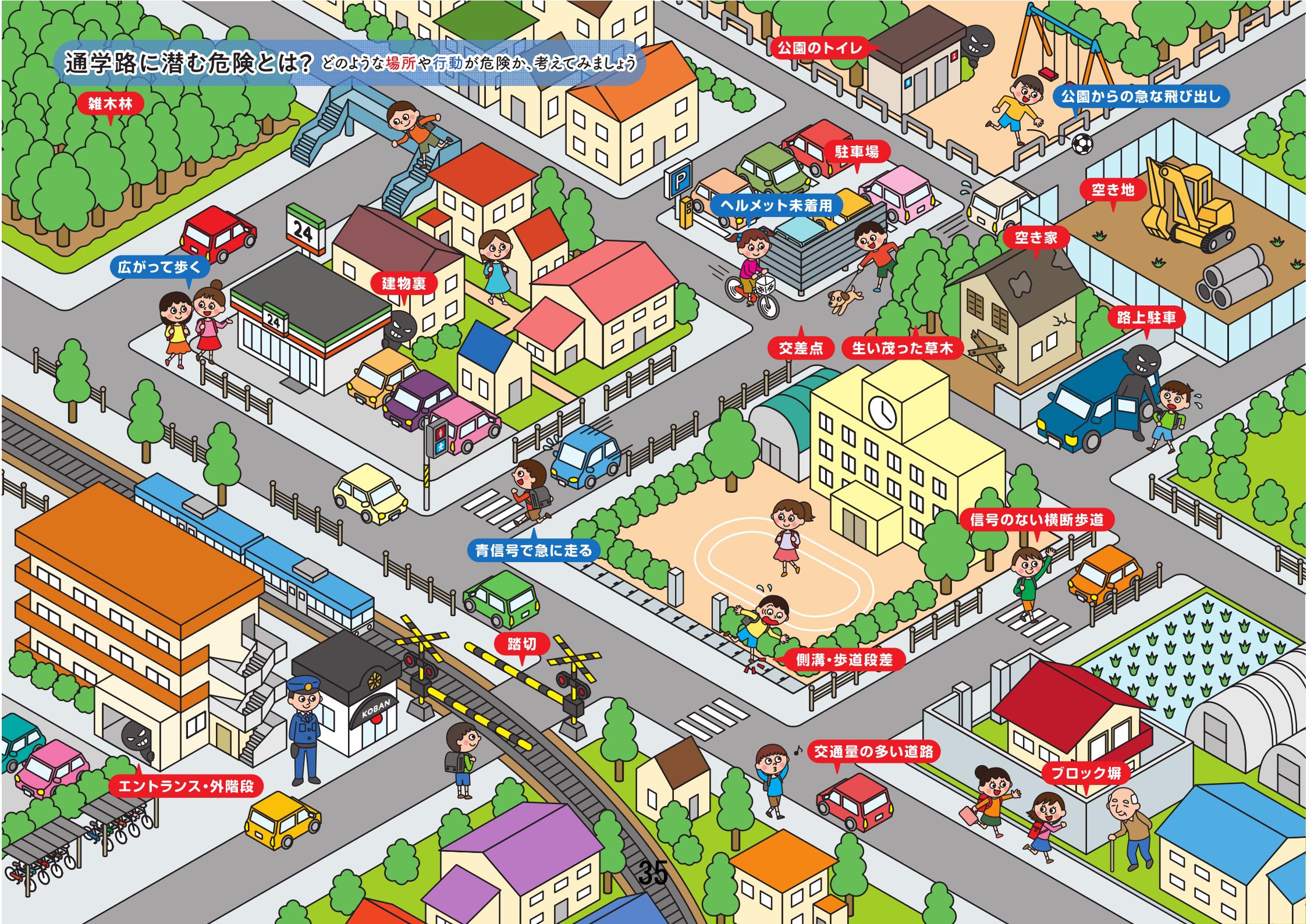
市町村・学校の方々へ

連絡体制を明確にしましょう

- 活動者は、日々見守り活動をしていると、危険だと感じる場所や不審な行動を取る人がいることなど、様々なことに気が付きます。何かがあったときに、誰に、どのように連絡すればよいか明確にし、活動者に伝えておきましょう。
- また、通学路の危険箇所や、活動中のできごと等、活動者からの指摘・相談にどのように対応したのか、対応するのかフィードバックしましょう。



通学路に潜む危険とは? どのような場所や行動が危険か、考えてみましょう



見守り活動に係る注意事項

重点的に見守り活動を行った方がよい場所	交通安全の観点では、特に以下のような場所に注意が必要です。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通量の多い道路 ● 歩車道の区別がない道路 ● 路側帯が狭い道路 ● 車両の走行スピードが速い道路
見守り活動を行う際の留意事項	防犯の観点では、人通りが少なく、子供が一人になってしまう場所
	<p>交差点などに立って見守るときには、自動車や自転車の死角となる場所に立つようにしましょう。</p> <p>子供を横断させるために、過剰に自動車を停止させるなどの交通整理はやめましょう。</p> <p>また、協力してくれたドライバーには一礼をするなど配慮しましょう。</p>

子供の行動・特性に係る注意事項

- 子供(特に低学年の子供)は大人より視野が狭く、視点も低いため、大人と同じように危険を感じていないことがあることに留意しましょう。

子供の行動・特性	注意事項(チェックポイント)
飛び出し	公園などからの急な飛び出しに注意が必要です。自転車・歩行者との出会い頭の衝突の危険があります。
急に走る	青信号に変わったときや踏切の遮断機が上がった途端に走り出す子供に注意が必要です。
広がって歩く	自転車などの衝突の危険が高まります。また、他の歩行者や自転車の迷惑となるので注意が必要です。

忘れ物に気づき家に取りに帰ろうとする子供は、集団登校から離れ一人になってしまうだけでなく、忘れ物を取りに帰ることに集中するあまり、周りが見えなくなってしまうことがあるので特に注意が必要です。

注意が必要な場所の例

場 所	状態(チェックポイント)
交差点	子供の飛び出しなど、出会い頭の事故のおそれがある場所です。
駐車場	駐車している車が死角となり、子供たちが隠れてしまうため、目が届きにくくなります。また、犯罪を企てている者が身を潜めやすい場所でもあります。
路上駐車	路上駐車は、その車両を避けて車道を歩くことによる交通事故の発生や、車からの声かけ、車への連れ込みなどのおそれもあり、歩車道の区別がない通学路では特に危険な場所です。
高架下・トンネル	特に夕方以降は暗くなるので注意が必要です。周囲からの見通しが悪く、人の目が届きにくくなる場所です。
(集合住宅等の)エントランスや階段	集合住宅等のエントランスや階段は、周囲からの死角となるほか、帰宅時の子供が一人になる瞬間でもあり、犯罪を企てている者に狙われやすい場所でもあります。
建物裏	人通りのある大通りから見えにくいなど、建物裏は死角となり、人の目が届きにくくなる場所です。
公園のトイレ	トイレの中はもちろん、トイレの裏側なども人の目が届きにくい場所です。
ブロック塀	背の高いブロック塀は死角となり、子供たちが周囲から見えにくくなる場所です。また、適切な管理がなされていない場合、倒壊することによるケガのおそれもあります。さらに、落書きなどがあると、地域の不安感につながります。
空き家・空き地	人の目が少ないほか、建物は死角となる場所です。また、老朽化した建物が倒壊するおそれもあります。
雑木林	雑木林の中は人の目が届きにくい場所です。一方、子供にとっては遊び場として魅力的なので、興味本位で中に入ってしまう子供に注意が必要です。
田畠	農作業をしていない時間は人通りが少なく、人の目が少ない場所です。また、ビニールハウスは周囲からの見通しも悪く、人の目が届きにくい場所です。
生い茂った草木	通学路にはみ出した草木は安全な通行の妨げになります。
側溝・歩道段差	側溝蓋のズレや歩道の段差は安全な通行の妨げになります。子供がつまづき、ケガをするおそれがあります。

3 こんなときどうする

活動中に交通事故や犯罪、不審な行動に遭遇したら

- 活動中に事故や犯罪に遭遇したら、自らの安全を確保した上で、すぐに110番通報しましょう。
 - 必要に応じて学校や市町村へも報告しましょう。



見守り活動者の方々へ

緊急通報のポイント

- 通報前には深呼吸をしましょう。

- 緊急事態に遭遇すると、どうしても焦ってしまいます。
身の安全を確保した上で、まずは深呼吸してみましょう。

- 適切な情報伝達を心がけましょう。

- 落ち着いて、次の情報を正確に伝えましょう。

- #### □ 何が起こったのか（誰がどういう被害に遭ったのか）

- いつ・どこで起こったのか

- 自分自身が今どこにいるのか、周囲はどういう状況か

- (できれば)犯人や事故を起こした車の特徴、逃走した方向

※自分の居場所がすぐにわからない場合は、道路名、交差点名、電柱、標識等の情報を伝えましょう。

市町村・学校の方々へ

何かあったらすぐ通報するよう伝えましょう

- 見守り活動はあくまでもボランティアであり、活動者の安全が第一です。見守り活動中に、もし犯罪者や不審者に遭遇した場合は、速やかに警察に通報することとし、無理な追跡等は行わず、危険を感じたときは、防犯ブザーやホイッスル等を吹鳴させるなどし、周囲へ危険を知らせ、避難するなどして自分や児童生徒の安全を確保してください。

※「自主防犯ボランティア活動支援サイト」の自主防犯活動Q&A（警察庁生活安全教生活安全企画課）を参考に記載

活動中に危険箇所や不審な行動を発見したら

- 活動中に、通学路の危険箇所や、不審な行動を目撃したら、学校や市町村へ連絡・相談しましょう。
 - 緊急性が高いと判断した場合は、警察へ連絡するようにしましょう。
 - 報告事項について、様式を作成している例もあります。

具体例 情報連絡シート(例)

■情報共有の際には、次のような項目を報告しましょう。

④持続可能な活動に向けて

無理をしない、無理をさせない活動を心がけよう

▶活動は、日頃の行動範囲を中心にしよう

- 見守り活動場所の分担は、活動者の自宅や通勤先等を基準に考えましょう。
- 活動場所までの移動手段を踏まえて、活動範囲を無理なく決めましょう。

▶ライフスタイルに合った活動をしよう

- 時間帯や頻度、方法はライフスタイルに合わせて無理なく活動しましょう。
- 各自分が少しづつ、できる範囲で子供や地域に目を向けることが大切です。

▶楽しく活動しよう

- 一人一人が協力し合い、楽しく活動しましょう。
- 活動者同士だけでなく、保護者、学校、市町村、警察、地域住民等が思いやりながら、互いに強制することなく楽しみながら活動することが大切です。

市町村・学校の方々へ

見守り活動者の心のケアにも留意しましょう

- 活動中、通学路で何かが起こっても活動者に責任はありません(※)。しかし、活動者は心を痛め、自らを責めてしまう方が多く見受けられます。活動者がいなくなることは地域全体の損失となるため、活動者はあくまでもボランティアで、かつ責任はないことを広く周知することが大切です。

※活動者の不法行為等に起因して発生した場合を除く

コミュニケーションを大切にしよう

▶挨拶をしよう

- まずは挨拶を大切にしましょう。
- また、「お疲れ様」「ありがとう」などの言葉をかけ合い、互いに気持ちよく活動しましょう。



▶日頃から顔を合わせ、交流を深めよう

- 活動者同士が顔を合わせる機会をつくりましょう。
- 意見交換会や連絡会、ワークショップ、研修会等は活動者同士の理解を深め、信頼関係を醸成するよい機会です。
- 見守り活動者同士の絆は、地域コミュニティの絆にもつながります。

見守り活動者の方々へ

日頃からコミュニケーションを取り、顔の見える関係づくりをしましょう

- 適切な情報共有に向け、日頃から他の活動者、市町村・学校担当者とのコミュニケーションを図り、いざというときのために、顔の見える関係づくりをしましょう。こうした関係づくりは、地域コミュニティの活性化にもつながります。

市町村・学校の方々へ

コミュニケーションの場を提供しましょう

- 地域全体で見守り活動を実施するには、市町村や学校がコミュニケーションの場をつくることが大切です。意見交換会や連絡会、ワークショップ、研修会等、できるだけ多くの活動者が一堂に会することのできる場を積極的に提供しましょう。
- また、こうした場で活動者のニーズを把握することも重要です。

いろいろな人を巻き込もう

▶ 見守り活動者の募集方法を工夫し、様々な世代を巻き込もう

- 積極的な情報発信を行い、老若男女、様々な世代の活動者を募集しましょう。
- 情報発信する際には、幅広い世代の活動者を確保するため、市の広報誌やホームページだけでなく、SNSや学校の広報誌・ホームページを活用するなど、募集する方法を変える工夫をしましょう。
- また、募集に当たっては、活動者のメッセージを入れるなど、読んでもらう工夫をしましょう。

コラム
2

みんなに知ってもらえると、活動しやすくなります

京都市立御室小学校「御室こども見守り隊」隊員(大学院生)

大学2年生のときに、苦手な早起きを克服したいという思いと、学校や子供が好きで何か役に立ちたいという思いから見守り隊に参加しました。

活動開始当時は一人だけ年齢が離れていたためか「あの人は誰?」「なぜ立っているの?」と思われたこともあります。しかし、PTAの広報誌に顔写真付きで見守り隊の活動が紹介されてからは、保護者や子供の理解も得られ、活動中に声をかけていただくなど、活動がしやすくなりました。

見守り活動者のモチベーションを向上させよう

▶ 積極的に情報発信をしよう

- 見守り活動の様子などを知ってもらうことは、活動のしやすさや、活動者のモチベーションアップにつながります。
- 様々な手段を活用し、積極的に情報発信をしましょう。

▶ 日頃から感謝を伝えよう

- 活動者にとって子供や地域の人からの「ありがとう」の一言はとても励みになります。
- 活動者に感謝の気持ちを届けるために、学校や市町村がそういった機会を設けるのもよいでしょう。

いつもありがとうございます。
みんなのこうつう
ルを見まもってくれてありがとうございます。
雨の日もあつい日もさむい
日もあります。
○○小学校△△より

市町村・学校の方々へ

見守り活動者への感謝を忘れないようにしましょう

■ 見守り活動の実施は一般的な取組となりましたが、見守り活動者が“いて当たり前”ではありません。保護者や子供による感謝の会を開いたり、日頃から見守り活動が地域にもたらす安心感を積極的に発信するようにしましょう。

コラム
3

子供たちの成長も見守っています

石川県金沢市立夕日寺小学校「夕日寺スクールサポート隊」隊員

活動を続けていると、1年生だった子供がいつの間にか6年生になっていたり、卒業生の中学生や高校生が挨拶をしてくれたりと、子供たちの成長を見守ることに喜びを感じています。

令和7年度 事業別・市町村別 実施予定一覧

資料4

R7.9.30 現在

市町村名	地域学校協働活動					放課後児童対策パッケージ(小学校)		家庭教育 支援事業	
	本部数	実施学校数				児童 クラブ	子ども教室		
		小学校	中学校	義務教育 学校	高校				
1 室戸市	5	4	4			1	2	3	
2 安芸市	9	8	1				6	8	
3 南国市	17	13	4				18	3	
4 土佐市	11	9	3				8	7	
5 須崎市	10	8	5				6	4	
6 宿毛市	10	7	5				3	4	
7 土佐清水市	1	3	1				1	4	
8 四万十市	15	13	3				15	8	
9 香南市	9	7	4				12	2	
10 香美市	9	7	3			1	10	4	
11 東洋町	1	1	2			2		1	
12 奈半利町	1	1	1			1	1	1	
13 田野町	1	1	1			1		1	
14 安田町	1	1	1			1		2	
15 北川村	1	1	1			1		1	
16 馬路村	1	2	2					1	
17 芸西村	1	1	1			2	1	1	
18 本山町	1	2	1				1	2	
19 大豊町	1			1				3	
20 土佐町	1	1	1					1	
21 大川村	1			1				1	
22 いの町	8	7	5				8	4	
23 仁淀川町	1	2	2					2	
24 中土佐町	3	3	2			1	1	2	
25 佐川町	5	4	2				3	3	
26 越知町	1	1	1				1		
27 植原町	1	1	1					1	
28 日高村	1	2	1				1	2	
29 津野町	2	2	2			2		3	
30 四万十町	13	10	3				1	11	
31 大月町	1	1	1					1	
32 三原村	1	1	1					1	
33 黒潮町	1	7	2					4	
34 学校組合	(1)	(1)	(1)				1		
35 高知市	52(56)	38(39)	14(17)	2			88	41	
36 県立	9				9				
事業実施予定 合計	207	171	81	4	9	13	188	137	
合計	(211)	(173)	(85)	4	9	13	188	137	
								18	

※地域学校協働活動の()内の数字は、高知市版地域学校協働本部実施校3校、国の示す本部の3要件を満たす高知市の学校1校及び一財対応の学校組合2校を含む。

令和7年度 放課後子ども教室・放課後児童クラブ

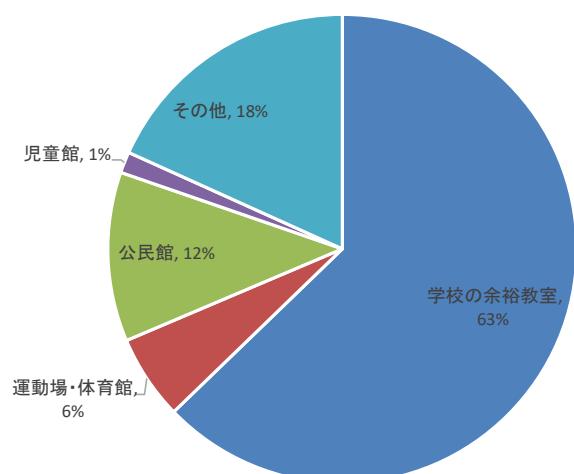
取組状況調査(まとめ)



②放課後子ども教室の活動場所について（小学校）

令和7年9月現在

■主な活動場所



※施設の利用例

小学校	校舎内の空き教室、図書室、理科室、体育館、図工室 多目的教室、教室の一時的使用等
その他	集落活動センター、休閑校舎、旧保育園、男女共同参画センター 市立体育館、市立図書館、福祉館 コミュニティセンター、生活改善センター あつたかふれあいセンター、市複合文化施設、児童センター、人権交流センター、集会所、県立高等学校

※学校施設の利用例

- ・長期休業中の校庭、体育館、プールの利用
- ・イベント開催時の多目的教室、体育館の利用
- ・月数回、もしくは不定期の校庭、体育館の利用
- ・雨天時の体育館等の利用

※高知市含む。

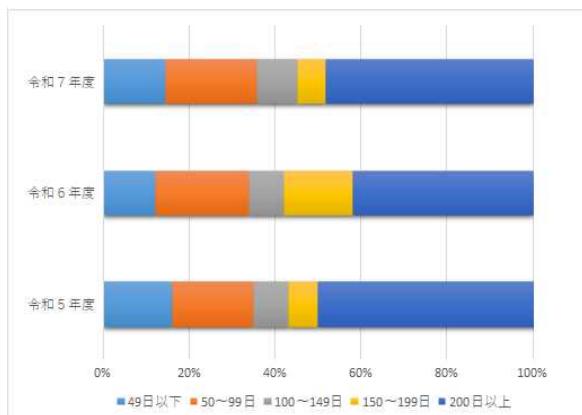
①放課後子ども教室の実施状況について（小学校）

令和7年9月現在

■開催日数の推移

日数	令和5年度			令和6年度			令和7年度		
	合計	高知市外	高知市	合計	高知市外	高知市	合計	高知市外	高知市
平均開催日数	143	182	96	151	174	96	160	185	103
49日以下	23	16%	12	11	17	12%	13	4	20
50～99日	27	19%	7	20	32	22%	8	24	29
100～149日	11	8%	11	0	12	8%	10	2	13
150～199日	9	7%	9	1	23	16%	21	2	9
200日以上	64	51%	64	9	60	42%	51	9	66
合計	144		103	41	144		103	41	137

- 平均開設日数が増加傾向にある。放課後の居場所としての役割に加え、長期休業中の居場所としても活用されている。



※高知市含む。

■土曜日等の開催について

開催の有無	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	高知市外	高知市	高知市外	高知市	高知市外	高知市
開催している	116	86	30	98	68	30
平日のみ	28	17	11	46	35	11

③放課後児童クラブの実施状況について

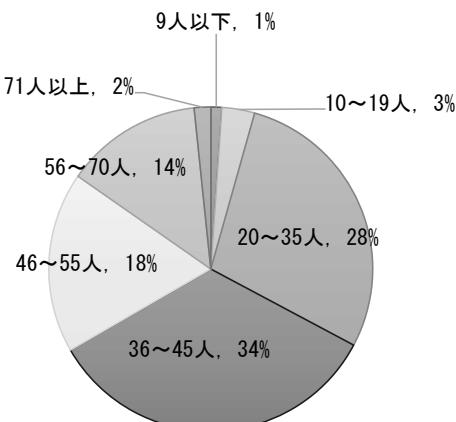
令和7年9月現在

■実施箇所数および児童数等 ※民間の実施箇所を除く。

実施市町村	実施箇所数	登録児童数	待機児童数	放課後児童支援員等数	※参考(R6年度実績) 放課後児童支援員認定資格研修修了者
19市町村	101	3,618	163	563	45
参考:高知市	82	3,876	56	302	20

■規模別実施状況

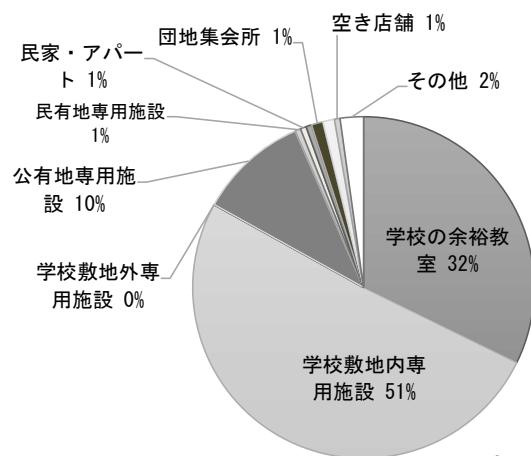
登録児童数の人数規模別では、45人までの児童クラブが全体の約6割以上を占める。



※高知市含む。42

■実施場所の状況

実施場所は、学校敷地内専用施設と学校の余裕教室が全体の8割以上を占める。



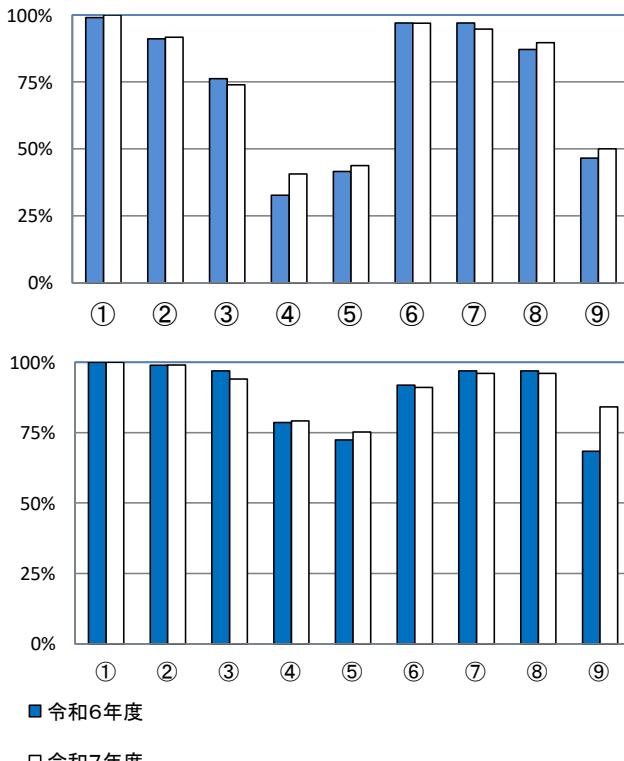
※高知市含む。

④県内の取組状況について（活動場所用より）

令和7年9月現在

◆安全・安心な居場所（上：子ども教室、下：児童クラブ）

【観点1】(1)安全・安心な居場所



※いずれも高知市除く。

- 緊急時対応訓練の実施については課題があることから、実施に努めるよう周知していく。
- 災害時等の保護者への連絡やお便りを情報伝達アプリ等を活用している自治体が増えてきている。

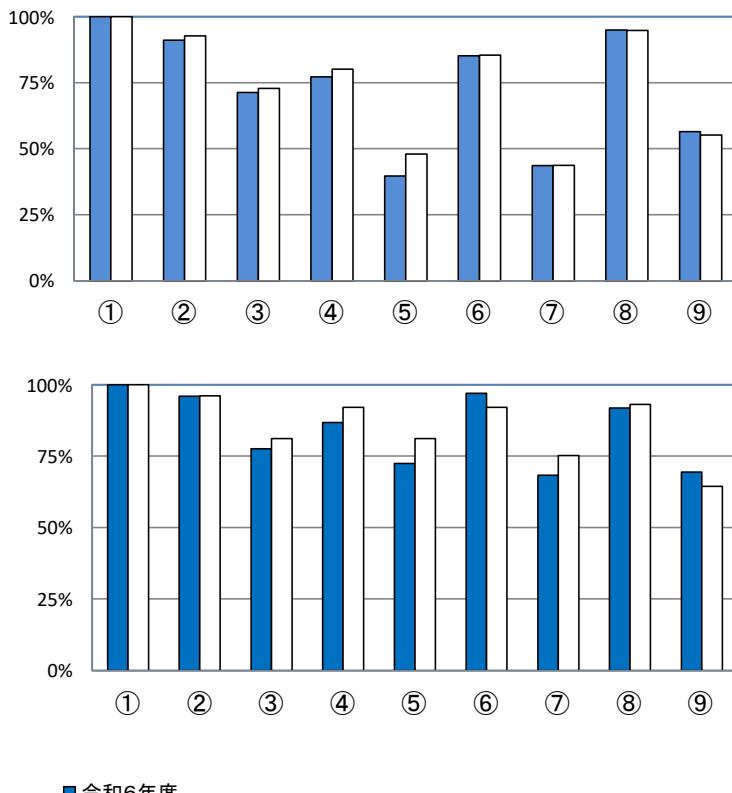
【参考】

(単位：%)

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①出欠を確認できる出席簿	100	100	100	100
②活動日誌等の配置	92	77	99	99
③お便りなどの発行	74	63	94	97
④保護者との連絡帳等でのやりとり	41	32	79	88
⑤保護者会等の実施	44	32	75	42
⑥児童生徒の保険への加入	97	98	91	92
⑦指導員等の保険への加入	95	96	96	60
⑧緊急時対応マニュアル	90	81	96	97
⑨緊急時対応訓練の実施	50	36	84	55

◆防災・防犯マニュアル（上：子ども教室、下：児童クラブ）

【観点1】(2)防災・防犯マニュアル作成について



- 県内全ての市町村で防災・防犯マニュアルの作成ができている。
- マニュアルの見直しにあたっては、ニーズに応じた研修の実施及び人材バンク等による継続した市町村支援等が必要である。研修会への参加が少ない自治体及び放課後子ども教室、放課後児童クラブには現場訪問等も含めて周知していく。

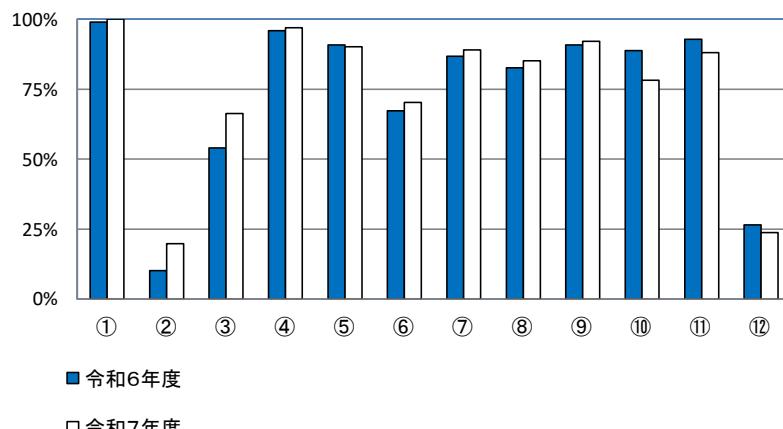
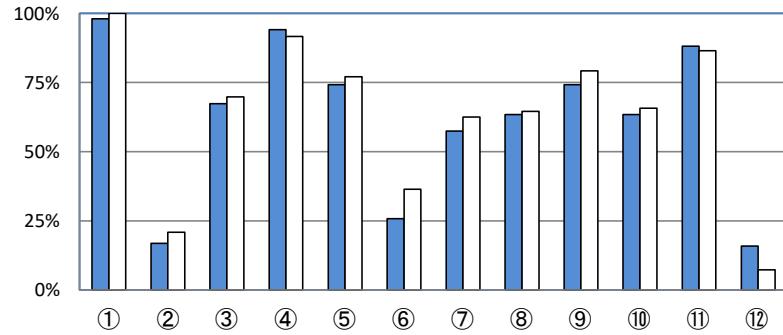
【参考】

(単位：%)

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①防災マニュアルの作成	100	100	100	100
②緊急連絡先をまとめている	93	90	96	93
③経路図の作成	73	61	81	84
④緊急時連絡引渡カードの作成	80	65	92	94
⑤その他の備え	48	37	81	54
⑥災害時対応の児童共有	85	71	92	95
⑦不審者対応の児童共有	44	34	75	51
⑧災害時対応の支援員等共有	95	96	93	96
⑨災害時対応の保護者共有	55	39	64	75

◆避難訓練、安全点検等の取組（上：子ども教室、下：児童クラブ）

【観点1】（3）避難訓練、安全点検等の取組について



※いずれも高知市除く。

- ・今年度、避難訓練の実施（予定も含む）について100%になった。
- ・研修会等で防犯に関する内容を行っていることから、防犯意識が高まっている。
- ・防災、防犯用品に関して、自治体で備えることが出来るものに関しては備えていただくよう、国の補助金等の活用も含めて促していく。

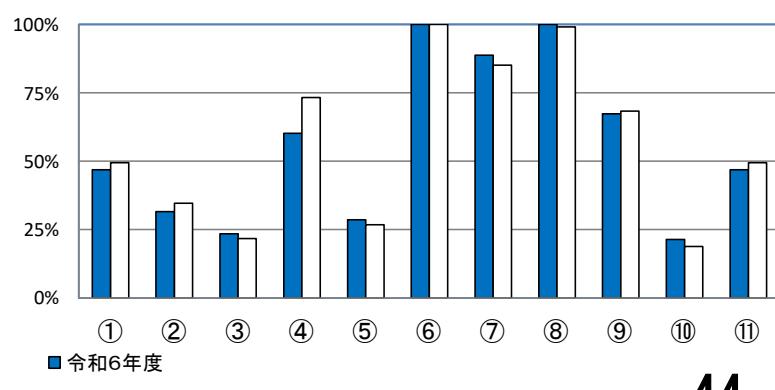
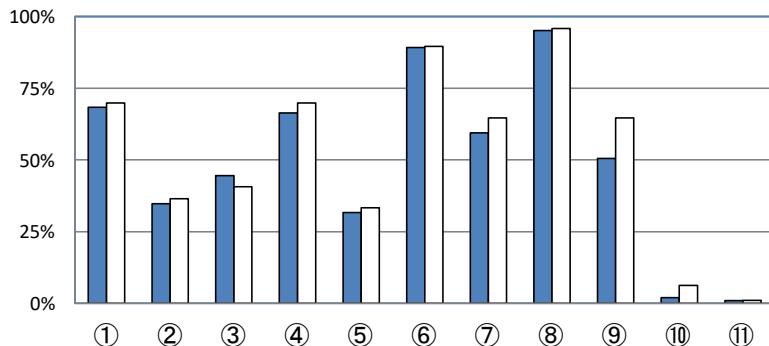
【参考】

（単位：%）

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①避難訓練を実施	100	100	100	100
②地域の防災組織と連携	21	16	20	15
③学校との連携・協力体制	70	79	66	76
④部屋の安全点検	92	94	97	92
⑤防災用ヘルメット等の備え	77	84	90	54
⑥防犯グッズ等の備え	36	55	70	49
⑦非常持出品の準備	63	74	89	90
⑧棚やテレビなどの固定	65	75	85	84
⑨照明器具は固定している	79	85	92	60
⑩窓ガラス等の飛散防止対策	66	76	78	77
⑪緊急地震速報の受信端末	86	99	88	54
⑫その他	7	6	24	14

◆支援活動の種類（上：子ども教室、下：児童クラブ）

【観点2】 支援活動の種類



- ・子ども教室及び児童クラブともに宿題を実施している割合が非常に高い。
- ・体験活動に関しては、自治体独自で行っている所もあるが、実施の有無に関しては自治体によっても差があることから、学校の振替休日等や平日等の学び場人材バンクの活用も含めて周知していく。

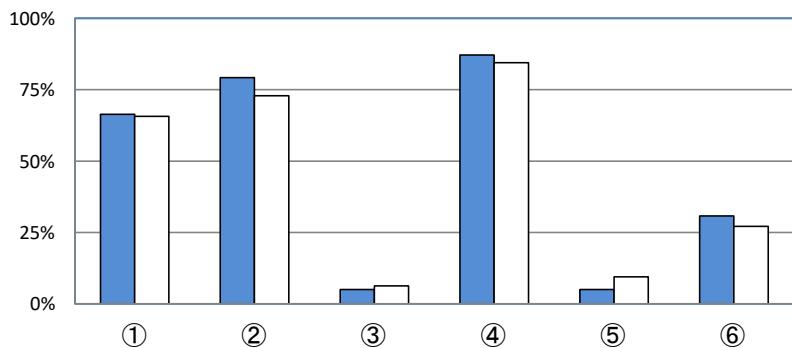
【参考】

（単位：%）

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①スポーツ活動	70	52	50	29
②文化・芸術活動	36	27	35	61
③地域住民との交流活動	41	31	22	13
④体験活動	70	53	73	85
⑤親子参加イベント	33	23	27	15
⑥自由遊び	90	72	100	100
⑦読書	65	51	85	91
⑧宿題	96	93	99	99
⑨予習・復習、自主学習	65	70	68	43
⑩補習	6	12	19	2
⑪その他	1	1	50	11

◆学校との連携(上:子ども教室、下:児童クラブ)

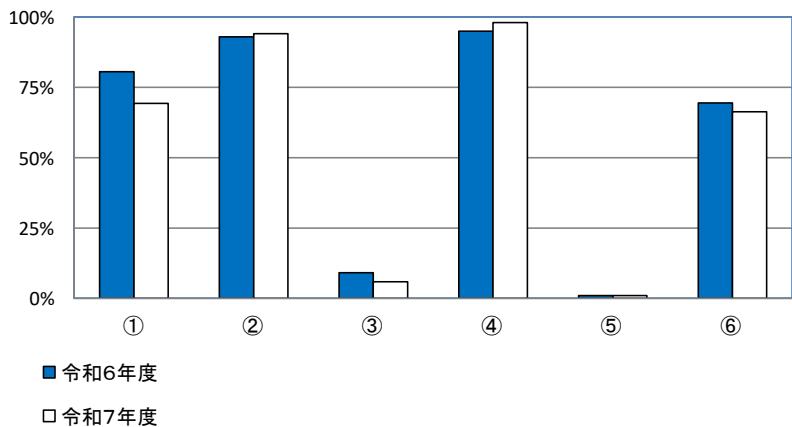
【観点3】 学校との連携



- 放課後児童対策パッケージにおいて、学校との連携については示されていることから、ヒアリングや現場訪問、研修会等にて市町村に働きかけていく。
- 人事異動等で連携が途切れている自治体や学校がある。学校との連携が円滑に進むよう、年度当初から市町村に働きかけをしていく。

【参考】

(単位: %)

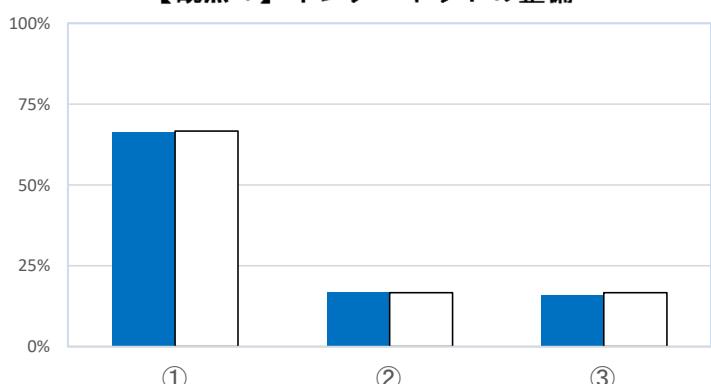


質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①定期的な連絡	66	71	69	63
②必要に応じ学校関係者が足を運ぶ	73	78	94	88
③教職員等が学習指導を行っている	6	6	6	4
④必要に応じて連絡	84	87	98	98
⑤特に連携はしていない	9	7	1	1
⑥その他	27	23	66	55

※いずれも高知市除く。

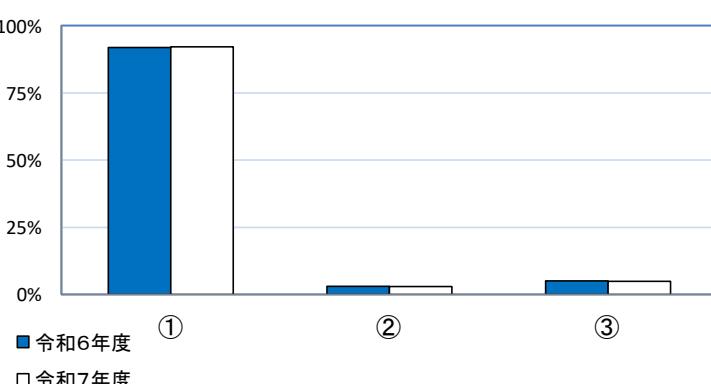
◆インターネットの整備(上:子ども教室、下:児童クラブ)

【観点4】 インターネットの整備



- インターネット環境の整備は進んでいるが、一人一台タブレット端末の使用方法について、活用を制限している子ども教室、児童クラブがある。

【参考】※インターネットを活動で使用している場合、その内容(複数回答可) (単位: %)

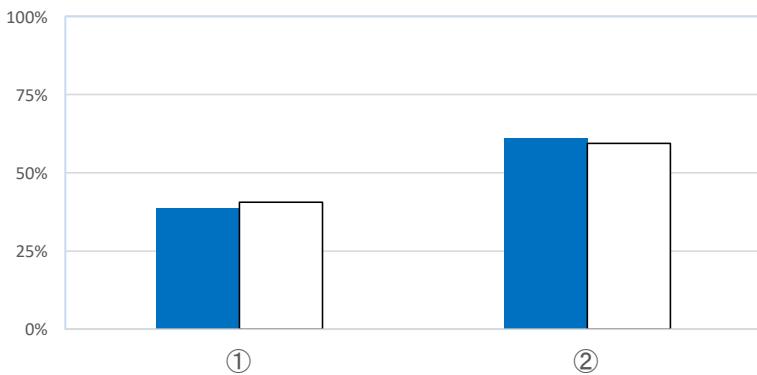


質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市含	高知市除	高知市含
①保護者への連絡に活用している	16		71	
②子ども教室・児童クラブの活動等について、HP等で発信している	10		48	
③市町村担当者とのメールによるやりとりを行っている	13		54	
④Youtube等を活用した学習や体験活動等の取組を行っている	29		47	
⑤研修や他の児童クラブ・子ども教室等との交流及び情報交換に活用している	7		46	
⑥その他	15		9	

※いずれも高知市除く。

◆学び場人材バンクの活用(上:子ども教室、下:児童クラブ)

【観点5】学び場人材バンクの活用

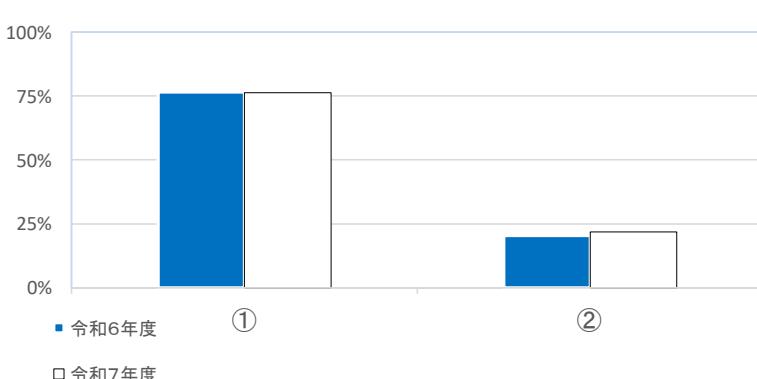


- ・出前講座の講師の高齢化により出来なくなったり、人気のある講座に応募が集中したりすることがあることから、新規開拓も含め、利用する側がのニーズに応じたメニューを確保していく必要性がある。

- ・長期休業中や1日開設時の過ごし方について、悩んでいる子ども教室や児童クラブも多くあることから、利用については引き続き周知していく。

【参考】

(単位: %)



※いずれも高知市除く。

質問項目	子ども教室		児童クラブ	
	高知市除	高知市除	高知市除	高知市除
①学び場人材バンクの出前講座を活用したことがある	41		76	
②学び場人材バンクの出前講座を活用したことがない	59		24	

NPO法人高知県生涯学習支援センター（学び場人材バンク）事業計画

資料6

令和7年9月30日現在

登録状況	個人	企業・団体	協力 企業・団体
	315	65	63

登録者の属性は、大学生10、
現職教員12、退職教員10、塾講師9、
その他274、登録企業・団体65、協力企業・団体
63

【市町村別登録者数】

令和7年9月30日現在

NO.	市町村	登録数		協力 企業・団体	NO.	市町村	登録数		協力 企業・団体
		個人	企業・団体				個人	企業・団体	
1	室戸市	8	0	1	19	大豊町	1	0	0
2	安芸市	2	0	0	20	土佐町	0	0	1
3	南国市	25	1	4	21	大川村	0	0	0
4	土佐市	15	1	0	22	いの町	18	3	0
5	須崎市	12	4	0	23	仁淀川町	3	0	0
6	宿毛市	9	0	0	24	中土佐町	1	0	0
7	土佐清水市	7	0	0	25	佐川町	6	0	0
8	四万十市	11	1	0	26	越知町	0	0	1
9	香南市	14	1	2	27	梼原町	1	0	0
10	香美市	27	1	2	28	日高村	2	1	2
11	東洋町	0	0	0	29	津野町	0	0	0
12	奈半利町	0	0	0	30	四万十町	7	3	0
13	田野町	1	0	1	31	大月町	1	2	0
14	安田町	3	0	0	32	三原村	0	0	1
15	北川村	0	0	0	33	黒潮町	5	1	1
16	馬路村	0	0	0	34	高知市	132	46	46
17	芸西村	1	0	1		県外	1	0	0
18	本山町	2	0	0		合計	315	65	63

及び協力団体】

登録企業

令和7年9月30日現在 (順不同)

No.	登録企業名	協力内容	No.	登録企業名	協力内容
1	株式会社 相愛	出前講座	20	有限会社 香北電機	出前講座
2	ほけんの110番	出前講座	21	株式会社 伽羅巣	出前講座
3	桂浜水族館	職場体験・出前講座	22	中宏文 建築設計事務所	出前講座
4	丸の内法律事務所	出前講座	23	ミタニ建設工業株式会社	出前講座
5	株式会社 JAエナジーこうち	職場見学・職場体験	24	ダイニングプランナー株式会社	出前講座
6	株式会社 ソニック	出前講座	25	明神水産株式会社	職場体験・出前講座
7	清和アグリス株式会社	出前講座	26	四国運輸株式会社	職場体験・出前講座
8	コーチ社労士事務所	職場体験・出前講座	27	株式会社 タケナカダンボール	職場体験・出前講座
9	株式会社 RT	職場見学・職場体験	28	株式会社 土佐龍	出前講座
10	株式会社 クイーク	職場体験・出前講座	29	株式会社 ひがき	出前講座
11	株式会社 建商	出前講座	30	株式会社 日東商事	出前講座
12	株式会社 オルトル	出前講座	31	有限会社 高知事務機	出前講座
13	株式会社 アイユート	職場体験・出前講座	32	株式会社 かんぽ生命保険高知支社	出前講座
14	栄産業株式会社	職場体験・出前講座	33	有限会社 ラヴィ・ボーテ	出前講座
15	レタル衣装わいば	出前講座	34	CEN 株式会社	出前講座
16	高橋裕忠行政書士事務所	出前講座	35	幡多信用金庫	出前講座
17	内外典具帖紙株式会社	出前講座	36	ワールドスポーツ(株).スポーツショップフットワーク	出前講座
18	学校法人 平成学園	出前講座	37	有限会社 ヨシオカ	出前講座
19	株式会社 フタガミ	出前講座	38	(株)チクリエイティブカンパニー	出前講座

登録団体

No.	登録団体名	協力内容	No.	登録団体名	協力内容
1	NPO法人こうちサポートネットワークイン	人材紹介・派遣	15	かわうその里お話の会	出前講座
2	環境活動支援センターえごらぼ	出前講座・人材派遣	16	四万十学舎	出前講座
3	高知県シェアリングネイチャー協会	出前講座	17	本のちゅうとのあ・い・だ	出前講座
4	高知県生涯学習インストラクター協会	研修会講師・啓もう活動	18	出前訪問サークルひめじょおん	校外体験学習
5	高知県赤十字血液センター	出前講座	19	四万十ふれあい動物村 ブーメン	出前講座
6	高知県地球温暖化防止推進委員の会	出前講座	20	NPO法人黒潮実感センター	出前講座
7	高知県美容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	21	海辺の自然史研究会	出前講座
8	高知県理容生活衛生同業組合	情報提供・人材紹介	22	日本3B体操協会高知県支部	出前講座
9	高知コンサート・グループ香南支部	出前講座	23	WSS-JAPAN四国支社	出前講座
10	しまんと新聞ばっく高知支部	出前講座	24	(一財)高知県環境検査センター	出前講座
11	新需要開拓マーケティング協議会	出前講座	25	103DAMA (とさ玉・けん玉)	出前講座
12	はぐくみプロジェクト	研修会講師・研修会講師	26	田邊塾	出前講座
13	腹話術高知	出前講座	27	華道家元池坊高知第一支部	出前講座
14	NPO法人四国自然史科学研究センター	出前講座	28		

協力企業

No.	協力企業名	協力内容	No.	協力企業名	協力内容
1	不二電気工芸株式会社	出前講座	10	株式会社ダスキンサンマート	出前講座
2	宮地電機株式会社	出前講座	11	高知県農業協同組合春野支所	出前講座
3	株式会社四国銀行	出前講座	12	株式会社エースワン	出前講座
4	株式会社高知銀行	出前講座	13	有限会社ロイヤル	出前講座
5	四国ライフケア	出前講座	14	川北印刷株式会社	出前講座
6	株式会社浜幸	出前講座・職場見学	15	高知放送	出前講座
7	新進電気販売株式会社	出前講座	16	高知新聞社	出前講座
8	城西館	出前講座	17	日産サティオ高知SIS事業部	出前講座
9	有限会社栄樹造園	出前講座	18	株式会社ダイセ	出前講座

協力団体

No.	協力団体名	協力内容	No.	協力団体名	協力内容
1	高知県金融広報委員会(日銀高知支店内)	出前講座	25	山・川・海の会	出前講座
2	『地球村』高知	出前講座	26	高知ケナブ普及会	出前講座
3	高知県森林研修センター・情報交流館	出前講座・講師派遣	27	鏡川下流の貝を育てる会	出前講座
4	高知県ボランティアNPOセンター	人材紹介	28	こうちフィールドユージアム協会	出前講座
5	公益財団法人高知市文化振興事業団	人材紹介	29	四国カーボンオフセット推進協議会	出前講座
6	放送大学	人材紹介	30	劇団笛の会	出前講座
7	公益財団法人土佐山内家宝資料館	出前講座	31	日本けん玉協会	出前講座
8	NPO法人ももいろ企画	出前講座	32	日本赤十字高知県支部	研修会講師
9	高知県スポーツチャンバラ協会	出前講座	33	高知アコア研究所	施設見学等
10	ぶらうんど	研修会講師	34	農と生き物研究所	出前講座
11	高知県のいち動物公園協会	出前講座	35	認NPO法人定カンガルーの会	研修会講師
12	高知県立月見山ごどもの森	出前講座	36	NPO法人469maネット	出前講座
13	工房ボレボレ	出前講座	37	土佐の国 笑いと癒し研究所	出前講座・研修会講師
14	株式会社四万十ドラマ	出前講座	38	高知大学	人材紹介・出前講座
15	株式会社奇想天外(海洋堂ホビー館四万十)	出前講座	39	高知工科大学	人材紹介・出前講座
16	高知県聴覚障害者協会	出前講座	40	一般社団法人Peaeo of New Earth	人材紹介
17	ボイスカウト高知県連盟	出前講座	41	コッコ・サン	本の寄贈
18	S.K. 未来創造研究所	研修会講師	42	土佐と紙ちぎり絵交流会	出前講座・研修会講師
19	高知県レクリエーション協会	出前講座	43	高知県スポーツ児童連盟	出前講座
20	千斗枝グローバル教育研究所	出前講座・研修会講師	44	高知県埋蔵文化財センター	出前講座
21	樹づくり工房夢遊	出前講座	45	高知地方気象台	出前講座
22	高知県立牧野植物園	出前講座	46		
23	高知自然学校連絡会	出前講座	47		
24	土佐竹とんぼの会	出前講座			

【市町村別出前講座申込・開催状況】

令和7年9月30現在

実施数	開催済						未開催	中止・キャンセル	マッチング不調	申込数
	子ども教室	合同	児童クラブ	合同	教室・クラブで合同	その他				
	マッチング済み									
高知市	8			2	1		5	2		11
室戸市										
安芸市	6			6						8
南国市	19	2		17					1	22
土佐市	1					1				1
須崎市	15	4		8			3		10	25
宿毛市										
土佐清水市	1						1			1
四万十市	4			1	3				1	5
香南市	20	3		16	1			1		28
香美市	2			2					1	3
東洋町										
奈半利町	1						1			1
田野町	3	3								3
安田町	1	1							6	7
北川村										
馬路村	1					1				1
芸西村	2	2								2
本山町									1	1
大豊町	3	3								3
土佐町										
大川村	4	4							4	8
いの町	7	5		2				1	1	11
仁淀川町	2	2							2	4
中土佐町	1	1								1
佐川町										
越知町	2			2						2
梼原町										
日高村	6	1		5						6
津野町	4	4							1	3
四万十町	6	5		1						6
大月町										
三原村										
黒潮町										
合計	119	40		62	5		12	4	1	2
マッチング件数	126								42	168

【出前講座箇所別マッチング状況】

子ども教室：40 子ども教室の合同：0 児童クラブ：62 児童クラブの合同：5 子ども教室と児童クラブの合同：0

その他：12（※その他はPTA学年行事、社会福祉協議会、公民館行事等。） 開催予定（10月～）：4

自然災害（台風）による中止：1 講師の都合によるキャンセル：2 曜程合わずマッチング不調：42

【マッチング先別人数】

令和7年9月30日現在 延べ人数

学習支援・サポーター等			講師及び補助		その他	合計
子ども教室 学習室（小）	学習室 (中学校)	児童クラブ	出前講座	研修会等		
0	0	0	165	3	0	168

【出前講座申込・開催状況の推移】

年度	出前講座申込数	出前講座開催回数	夏季(7~8月)出前講座申込数	夏季(7~8月)出前講座開催回数
2021	149	109	127	95
2022	178	119	145	99
2023	184	137	168	125
2024	199	160	50	140
2025(4~9月)	168	119	32	114

【令和7度出前講座実施状況及び参加者数】

参加者（延べ人数） 令和7年9月30日現在

参加小学生数	参加支援員数	参加保護者等	その他参加者	計
3,145	491	91	70	3,797

講師データ(職種別延べ人数)

令和7年9月30日現在

高校生	大学生	現職教員	退職教員	塾講師	その他	企業	団体	合計
0	4	12	13	1	67	5	63	165

講座別実施回数

令和7年9月30日現在

ものづくり									
竹とんぼ作り	石けんクラフト	ジェルキャンドル作り	植木鉢風りん	森林学習と木工作	森林学習とベン立て作り	森林学習と万華鏡づくり	貝殻のクラフト(1)	森林学習と写真立て作り	紙飛行機作り
1	3	3	2	3	6	3	2	2	4
ものづくり									
まきまきカップ	ストーンアート	木の実の工作2【クラフト】	こけ玉	森林学習とレターラック作り	森林学習とプランター作り	色砂の鉢植え(ハイドロカルチャー)	五連発輪ゴム鉄砲作り	磁器絵付け【マグカップ】	空気砲であそぼう
1	1	2	1	2	1	4	2	1	1
ものづくり									
体験									
リース作り	巨大シャボン玉作り	プラ板キーフォルダー	森林学習とベン立て作り	ビーズアクセサリー	飛行機工作	バスボム作り	けん玉教室	筒けん教室	早押しクイズ
2	1	1	6	2	1	1	2	9	1
体験									
思いやりの魔法	ジャグリング	バルーンアート	けん玉教室103DAMA	キッズヨーガ	レクレーション	ジャグリング	キッズヨーガ	バドミントン教室	レクレーションダンス
5	1	5	3	1	1	1	1	2	3
体験			学ぶ						
おかたづけ教室	正しい走り方教室	ミニ四駆	地震の話【防災学習】	十六4ミリ映写会	おもしろ算数教室	星のはなし【星空観察】	マンガ教室	折り紙教室	手話教室
5	1	1	1	2	1	1	2	1	1
学ぶ			その他						
電気の話【エネルギー教室】	マジックショー	マジックショ and マジック教室	腹話術						
4	10	2	3						

令和7年9月30日現在

～60%	61～70%	71～80%	81～90%	91～100%
0	0	3	16	46

【個人講師(居住地別)の各市町村における講座実施回数】

令和7年9月30日現在

開催地 講師 居住地	室戸 市	安芸 市	香南 市	香 美 市	東洋 町	奈半利 町	田野 町	安田 町	北川 村	馬路 村	芸西 村	南国 市	土佐 市	須崎 市	本山 町	大豊 町	土佐 町	大川 村	いの 町	仁淀川 町	中土 佐町	佐川 町	越知 町	梼原 町	日高 村	津野 町	四万 十町	宿毛 市	土 佐 清水 市	四万 十市	大月 町	三原 村	黒潮 町	高知 市	計
室戸市																																	0		
安芸市																																0			
香南市		1		1								2					1	1						1		1						1	9		
香美市		4	4				2	1		1	1	5	1	5		1				1			1		1	1					1	31			
東洋町																																0			
奈半利町																																0			
田野町																																0			
安田町																																0			
北川村																																0			
馬路村																																0			
芸西村																																0			
南国市			4									1					1														6				
土佐市																																0			
須崎市																																0			
本山町																																0			
大豊町																																0			
土佐町																																0			
大川村																																0			
いの町																																0			
仁淀川町																																0			
中土佐町																																0			
佐川町																																0			
越知町																																0			
梼原町																																0			
日高村																																0			
津野町																																0			
四万十町												2				1															1				
宿毛市																																0			
土佐清水市																																0			
四万十市																																0			
大月町																																0			
三原村																																0			
黒潮町																																0			
高知市		1	12	1		1	1			1	9	10	1	3	0	4	7	2	1	0	2	0	6	4	5	1	0	5	0	0	5	67			
計	0	6	20	2	0	1	3	1	0	1	2	19	1	15	0	3	0	4	7	2	1	0	2	0	6	4	5	1	0	5	0	0	8	119	